

「淀川水系河川整備計画基礎原案に係る具体的な整備内容シート」 に関する委員意見（2003/10/10 12:00現在）

・淀川部会関連分

- ・木津川、川上ダムに関連する事業
- ・桂川に関連する事業
- ・宇治川、瀬田川、天ヶ瀬ダム、大戸川ダムに関連する事業
- ・淀川本川に関連する事業

・流域全体関連分

<本資料について>

注1：本資料は、基礎原案に係る具体的な整備内容シートのうち、淀川部会および流域全体に関連すると考えられるシートへの委員からの意見を庶務がまとめたものです。

注2：「検討/実施」の欄は整備内容シートのスケジュール欄の内容を庶務が転記したものです。

淀川部会関連分

木津川、川上ダムに関連する事業

本資料は、基礎原案に係る具体的な整備内容シートより淀川部会に関連すると考えられるシートを河川別に分類し、それらのシートに関する委員からの意見を庶務がまとめたものです。

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(環境-7)	環境-7	5.2.1	横断方向の河川形状の修復を実施(上津屋)	木津川	実施	賛成(モニタリングの項目・評価基準表を用意が必要でないか←意見)	倉田 亨
					実施	可	米山 俊直
					実施	1.事業効果の表現について、「……河川環境の復元が期待される。」と変更のこと。 2.「2.具体的整備手法」の流れの中に「モニタリング計画の検討」を挿入すること。	有馬 忠雄
					実施	「横断方向の河川形状の修復を実施(上津屋地区)」「淀川本川」:実施で可。但し、従来の「都市公園計画」に準じたものにならないよう、河川の本来のあり方を十分に考慮に入れた計画を、イニシアティブをとって地方自治体と十分に協議し、遺漏のないようにしなければならない。	川那部 浩哉
					実施	八幡市との関連事業とのことだが、全体(関連)構想がわからない。干陸化した河床を切り下げることには異議はない。増水のたびに流れが変わっている木津川全体(笠置～三川)の干陸化(川床低下)を考えてほしい。	紀平 肇
					実施	「可?」。判断が難しい。	三田村 緒佐武
(環境-21)	環境-21	5.2.1	縦断方向の河川形状の修復の検討(魚類の遡上・降下)	木津川上流	検討	「縦断方向の河川形状の修復の(?)検討(魚類の遡上・降下)[松牧・安部田・大河原・上有市・平尾・中村]」:検討で可。	川那部 浩哉
					検討	実施可	倉田 亨
					検討	可	米山 俊直
					検討	比較的容易に縦断方向の連続性を確保できると素人目にも思われる箇所がありました。すみやかに修復が期待できる場所では実施を。	山本 範子
					検討	下流側からと言わず、出来るところから実施すべき。さもないと先に進まない。	渡辺 賢二
					検討	木津川上流の井堰、取水堰、ダムなどの縦断方向の連続性回復の検討にあたっては、学識経験者(流域委員会委員を含む)、地元有識者などの参加による環境委員会(仮称)を設置して進めてほしい。この検討会は井堰管理者や内水面漁業者等と河川管理者との間に立って調整する(対話集会など)役割を務めることもできるのではないかと。木津川上流(本川)の上野市～青山町区間は指定区間で伊賀県民局が管理しているが井堰魚道整備について河川管理者の指導・助言を行ってほしい。	川上 聡
					検討	コメント(以下環境-25まで共通):小規模な改築により遡上環境の改良が可能かどうか、十分な検討が必要と思われる。たとえば、魚道施設を改良できても、農業用水の取水のしかたを改めないで魚道に適正な(多すぎず少なすぎない)流量を流すことが不可能な場合はないか。個々の事例ごとに検討が必要であろう。	原田 泰志
(環境-25)	環境-26	5.2.1	魚類等の遡上・降下が可能な方策を検討	既設ダム	検討／委員会	実施可。限定された魚類を調査対象とするのではなく、すべての遡上、降下生物を調査の対象とすべき。水量調節を考慮した管理方法を検討すべき。	川端 善一郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会	実施可(むずかしく、専門家帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／委員会	可	寺川 庄蔵
					検討／委員会	可	米山 俊直
					検討／委員会	(否)魚は他の全ての水中生物と共生しているから、水中生物、全ての道にしなくてはならない。仮に図の様な計画が実現してもダム湖にたどりついた川の魚達にとってダム湖の水環境は余りのも悪く、可哀想。	田中 真澄
					検討／委員会	青野ダム事例が紹介されているが、このダム本体は別にして、下流などの中小堰の改修がされていないため、ほとんど効果がないという指摘がある。	谷田 一三
					検討／委員会	既設ダムへの魚道の設置はすべての面でリスクが大きく、非現実的と判断せざるを得ない。従って、代替案の検討こそが、より有効な改善策を生み出せるものと思われる。代替案については明確ではないが、ダム湖への高度な水質浄化システムの導入(今後の開発に期待)とダム湖への流入河川の連続性を回復させ、ダム湖から上流の河川環境の保全・再生を図るべき。	渡辺 賢二
					検討／委員会	「縦断方向の河川形状の修復の(?)検討(魚類の遡上・降下)[既設ダム]」:検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					検討／委員会	「追加？」ダムの外来魚対策もセットで検討することが望ましい。	畚野 剛
					検討／委員会	コメント:検討要素にコストも含めたうえで、可否を含めた検討を十分に行うべき(魚道だけでなく他の方策についても)。検討の材料とするため、例としてあげている青野ダム魚道の事業効果の評価を国土交通省で厳密に行うことを考えてもよいのではないか。	原田 泰志
(環境-29)	環境-32	5.2.3	ダム・堰運用による水位変動、攪乱の増大の検討	既設ダム	検討／試行	実施可。	川端 善一郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行	実施可(むずかしいため、専門家の帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／試行	可	寺川 庄蔵
					検討／試行	可	仁連 孝昭
					検討／試行	「賛成」ただし試行の効果のモニタリングが不可欠。	畚野 剛
					検討／試行	可です。来年度から、他のダムとなっているのは、一斉になのか、順次なのかがわかりません。決まっているなら、明記してほしい。	細川 ゆう子
					検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	検討内容を各ダム間で統一する項目も必要	和田 英太郎
					検討／試行	(否)高山ダム湖内のアオコなど富栄養化で悪化した水を放流しても藻類リフレッシュやシルトの清掃はできないと思われ、まず湖内の水質浄化をしなければ解決にならない。現況の水質では攪乱を繰り返すほど、低水位になれば状況は悪くなる。	田中 真澄
					検討／試行	「ダム・堰運用による水位変動・攪乱の増大の検討[ダム所在地先]」:検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					検討／試行	高山ダムなどの攪乱放流は、大事な試みであるが、日本のダムでは人工放流に使える容量が少ないので、単独では流量が不足する。中規模以上の洪水に上乘せ放流をする、技術の開発を考えて欲しい。淀川大堰の操作にも共通する課題かもしれない。	谷田 一三
					検討／試行	追加:重要度で優先順位をつけられたことは良いと思う。モニタリング項目には、魚類(例:漁業的にはアユの摂餌量、成長、移動等)も含めるべきであろう。	原田 泰志

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行	1. モニタリングへの住民参加の検討。 2. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)	本多 孝
					検討／試行	基本的には「可」。ただし、事業地区だけでなく他のダム湖においても検討されるべき。とくに、ダム湖水の滞留時間と富栄養化との関係を検討・試行していただきたい。	三田村 緒佐武
(環境-36)	環境-40	5.2.4	選択取水設備の継続活用及び各種の検討	既設ダム	検討／実施／委員会	実施可	倉田 亨
					検討／実施／委員会	可	米山 俊直
					検討／実施／委員会	これまでの検討結果を整理する	和田 英太郎
					検討／実施／委員会	「疑義あり」:この設備だけでは解決できない。(一庫ダムの)水質改善には上流からの生活廃水流入対策を手遅れにならないうちに検討・実施の必要がある。今後ダム建設は困難になると予想され、一庫ダムは川西市民の水ガメとして大切にしていきたい。一庫ダムから余野川ダムへ利水の振り替えは安易な考えではないでしょうか？	畚野 剛
					検討／実施／委員会	「選択取水設備の継続活用及び各種の検討」:検討で可。但し、既設の選択取水設備を単に活用するだけでなく、その問題点を抉りだすような検討事項とすべきである。	川那部 浩哉
					検討／実施／委員会	実施可。深層水の放流に際しては水温のみではなく、DOの下流生態系に与える影響にも留意する。	川端 善一郎
					検討／実施／委員会	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					検討／実施／委員会	ダムにおける水質改善装置については、設置運転コストに見合うだけの効果があるかの検証が必要である。	谷田 一三

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／実施／委員会	追加：運用を下流にとって最適な形に弾力化することも検討してはどうか。たとえば、流入水温と同じ温度での放流を基本に現在操作が行われている場合に、冷水病の発症予防のためにより表層の水を放流する可能性も検討してはどうか。将来的には冷水病アユ放流の禁止等による川からの冷水病の根絶が望ましいが、短期的には、上記のような運用の弾力化による対応可能性の検討もありうると考える。	原田 泰志
					検討／実施／委員会	おおむね「可」。ただし、取水時期と取水深度により、下流域の産業、交通、生活環境に大きく影響をもたらす。その意味ではマルチ深度取水を検討するのもよい。	三田村 緒佐武
					検討／実施／委員会	維持管理には地球環境に配慮した手法を優先的に取り入れる。 例：電力を使わない、など。大型施設を作り維持管理に費用がかかるといった方策を避ける。	山本 範子
					検討／実施／委員会	現状ではやむなし 選択取水機能の改善が望まれる。基本的には総合的な水質および底質の改善をはかること。	寺川 庄蔵
(環境-37)	環境-41	5.2.4	曝気設備の継続活用及び各種の検討	既設ダム	検討／委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／委員会／実施	「疑義あり」：この設備だけでは解決できない。(一庫ダムの)水質改善には上流からの生活廃水流入対策を手遅れにならないうちに検討・実施の必要がある。今後ダム建設は困難になると予想され、一庫ダムは川西市民の水ガメとして大切にしていきたい。一庫ダムから余野川ダムへ利水の振り替えは安易な考えではないでしょうか？	畚野 剛
					検討／委員会／実施	「曝気設備の継続活用及び各種の検討」：検討で可。但し、既設の曝気設備を単に活用するだけでなく、その問題点を抉りだすような検討事項とすべきである。	川那部 浩哉
					検討／委員会／実施	実施可。水質改善がみられた面積、範囲を明らかにすべき。水塊の流動範囲とDOの改善範囲が一致するかどうかを検討すべき。	川端 善一郎
					検討／委員会／実施	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会 ／実施	ダムにおける水質改善装置については、設置運転コストに見合うだけの効果があるかの検証が必要である。	谷田 一三
					検討／委員会 ／実施	維持管理には地球環境に配慮した手法を優先的に取り入れる。 例：電力を使わない、など。大型施設を作り維持管理に費用がかかるといった方策を避ける。	山本 範子
					検討／委員会 ／実施	何をもちて効果の指標とするのか検討が必要	和田 英太郎
					検討／委員会 ／実施	おおむね「可」。ただし、安易にばっきによる鉛直混合促進に頼るべきでなく、なぜ環境悪化をきたすかを検討し、その根本対策を講じるようにしなければならない。	三田村 緒佐武
					検討／委員会 ／実施	深層曝気はかえって赤潮を促進させるとの疑問もあるため、技術的にもさらなる検討が必要。	渡辺 賢二
(環境-38)	環境-42	5.2.4	底質調査の継続実施と改善対策等の検討	既設ダム	調査検討／調査実施	実施可	倉田 亨
					調査検討／調査実施	可	米山 俊直
					調査検討／調査実施	「底質調査の継続実施と改善対策等の検討」：検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					調査検討／調査実施	実施可。実施調査項目によって汚濁メカニズムが解明できるのかどうか検討すべき。	川端 善一郎
					調査検討／調査実施	添付されている写真は底泥調査のものではない。バンドーン採水器を持っている。また、布目、室生、青連寺、高山など相互に関連するダムにあっては、底泥形成や藻類繁茂など有機的に連携しているため、相互の実態を把握し、制御管理につなげるべきである。	宗宮 功
					調査検討／調査実施	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					調査検討／調査実施	「賛成」とくに一庫ダムにおいては上流直近に広域ごみ処理施設の計画があり、状況によっては測定項目にダイオキシン等の追加の必要性も留意されたい。	畚野 剛
					調査検討／調査実施	「可」。ただし、水質改善、底質改善につながる調査内容(調査項目と採取地点、その時期)としなければならないことはいうまでもない。従前の環境基準にあるからという姿勢では環境改善が困難であることがしばしばある。	三田村 緒佐武
					調査検討／調査実施	底質調査は年1～2回ということですが、大気中の調査も定点で月1回なされている。あまり変化がないから年1～2回でよいのでしょうか。利水、飲料水としても使われ、生物にも影響があると思われる。今後調査頻度を上げる方向で検討を望みます。長期的には住民の関心が高まることだと思います。	山本 範子
(環境-41)	環境-45	5.2.5	土砂移動の障害を軽減するための方策を検討	既設ダム	検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	可。但し概算、必要年数等々のプランを明確化。	和田 英太郎
					検討／試行	重要(これまで、なおざりにになっていた)なので必ず実施を！！可	倉田 亨
					検討／試行	「疑義あり」：直感的には森林の土砂流出防止と下流への土砂供給とは相反するよう感じるのですが？	畚野 剛
					検討／試行	実施可。下流に運んだ土砂の流し方を検討する。特に生物の生息環境を破壊しないダム下流の流量と土砂の流し方の検討が必要。	川端 善一郎
					検討／試行	排砂が下流の河床変動に与える影響を予測して排砂計画に反映させる。	水山 高久
					検討／試行	「土砂移動の障害を軽減するための方策を検討」：検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
(環境-42)	環境-46	5.2.5	土砂移動の連続性の確保(砂防施設)	瀬田川・木津川	検討／試行	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行	「土砂移動の連続性の確保(砂防施設)」:検討で可。但し、直轄でない砂防ダムについても、検討事項として記載するのが自然である。	川那部 浩哉
					検討／試行	透過型堰堤(スリット付き)のよる土砂移動の促進と生物の移動を考慮した砂防施設の普及が課題。	川上 聡
					検討／試行	流砂の恒常的確保を前提出来る方法を検討すること先決。十分研究を。	倉田 亨
					検討／試行	透過型砂防堰堤をもっと積極的に導入する必要がある。ゲート付き砂防堰堤の利水効果とは、どのような意味か?取水用堰堤と砂防堰堤を峻別しないと、河川管理上問題を生じると思われる。	谷田 一三
(環境-46)	環境-50	5.2.6	生息・生育環境の保全及び再生の実施(木津川中流部)	木津川	実施	「生息・生育環境の保全と再生の実施(木津川中流地区)」:実施で可。	川那部 浩哉
					実施	実施可、必ず実施を願う。	倉田 亨
					実施	可	米山 俊直
(環境-47)	環境-51	5.2.6	オオサンショウウオの生息環境を保全する	木津川上流	検討／委員会	「オオサンショウウオの生息保全」:検討で可。	川那部 浩哉
					検討／委員会	保全の具体的方法を専門家の意見に従い、よく研究することが先決。	倉田 亨
					検討／委員会	可	米山 俊直
					検討／委員会	人工巣穴での飼育が保全か疑問である。	渡辺 賢二
					検討／委員会	コメント:有効な保全策が確立されていない現状をふまえると、タイトルは「生息環境の保全をめざした取り組みを行う」くらいが妥当。実際、具体的整備手法の内容も、「試験」と「モニタリング」である。くれぐれもこの施策によりオオサンショウウオの生息環境の保全が保証されるという誤解を生まないような記述にしていきたい。	原田 泰志
					検討／委員会	「可」。ただし、なぜオオサンショウウオを保護する必要があるのかを思考し、そのための環境創造を必要とする共通理解を構築しなければならない。	三田村 緒佐武
					検討／委員会	前深瀬川、川上川にかぎらず、生息環境をこれ以上悪化・縮小させないことが重要と思います。	山本 範子
					検討／委員会	オオサンショウウオの棲息している河川は食餌から繁殖に至るすべての棲息環境をまるごと保全すべきである。このことからできるだけ河川改修などの人為は避けることが基本である。「天然記念物」を尊敬・尊重すべき。	川上 聡
					検討／委員会	人工巣穴はつくらない方が良いという専門家の意見もある。繁殖生態が変化する恐れがある。清流と、自然の淵と、餌が豊富であれば生息できる(鴨川での経験から)。	田中 真澄
					検討／委員会	オオサンショウウオの保護も大事であるが、頂端捕食者の過剰な繁殖は、生態系のバランスを壊す。生息適正数の検討も必要である。	谷田 一三

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(環境-54)	環境-58	5.2.6	支川や水路を含めた構造の改善等に向けて、関係機関と連携	-	検討／委員会	一般論として、おおいに推進してほしい事業である。住民意見の聴取あるいは住民の参画を求める時には、農業者や男性だけでなく、子どもや女性たちなどにもかかわってもらい、そのような事業をすすめていることに理解と興味をもってもらうことが重要である。琵琶湖辺での試験的な活動においては、子どもたちはこのような事業には前向きな興味を示し、[子どもがうごくと大人もうごく]ということを実証済みである。	嘉田 由紀子
					検討／委員会	「自然や水路を含めた構造の改善等に向けて、関係機関と連携」：連携の実施と内容の検討で可。主体的・主導的・積極的に進められたい。	川那部 浩哉
					検討／委員会	賛成	倉田 亨
					検討／委員会	賛成。早急に取り組むべき課題であると思います。	田村 悦一
					検討／委員会	可です。ただ、もっと継続的に流域全体に広げていってほしい取り組みなので、できるところだけ実施するだけに終わらないでほしい。	細川 ゆう子
					検討／委員会	1. 住民参加のワークショップ形式での取り組みの検討。 2. ハード整備(形状修復)だけで終わらない住民参加の場作り、継続したかかわりのできるソフトや仕組み、人材育成の検討を追加記述ください。 3. 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常に住民への情報提供・参加を促せるようにマドロを開けた取り組みを心がけてください。また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。 4. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)	本多 孝
					検討／委員会	水路も含めた構造改善について評価できる。	松本 馨
					検討／委員会	可 重要	米山 俊直
					検討／委員会	農業用水路と河川の連続性確保については、農水省、府県の農水部門との調整・連携・実践に特に力を入れて進めてほしい。	川上 聡

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会	「賛成」メダカの住める川の復活のために用・排水路とのつながりを十分「留意」して検討いただきたい。	畚野 剛
					検討／委員会	おおむね「可」。ただし、整備内容によっては住民の利便性と環境保護とが相反する場合がある。可能な限り住民意見の合意をはかるように努めるべき。	三田村 緒佐武
(環境-63)	環境-67	5.2.8	振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用	淀川・宇治川・桂川・木津川	実施	「振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用」:実施で可。但し、なぜ「淀川工事(河川?)事務所管理区間内<全川対象>」だけなのか、疑問は尽きない。	川那部 浩哉
					実施	(可)	田中 真澄
					実施	可	米山 俊直
					実施	施工場所の条件によって、また機械運転方法によって異なるだろうから、機種やサイズ・運転法の望ましい方法をマニュアル化する検討を頂いてはどうか。	倉田 亨
					実施	施工機械の低環境負荷型の導入は環境面からも積極的に早期に実施する必要があります。しかし施工業者の側が大手に限られるなど対応に時間のかかる中小業者については導入促進のアドヴァンテージを与える、支援するなど必要ではないでしょうか。	山本 範子
					実施	効果のモニター法について述べる	和田 英太郎
(治水-12-1)	治水-12-1	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-12-2)	治水-12-2	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-12-3)	治水-12-3	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-12-4)	治水-12-4	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(治水-12-5)	治水-12-5	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(治水-12-6)	治水-12-6	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-12-7)	治水-12-7	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(追加)	治水-12-8	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-12-8)	治水-12-9	5.3.1	堤防補強	木津川(下流)	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	効果の説明を加える。素人の理解のため。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(追加)	治水-13-1	5.3.1	堤防補強	木津川上流	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	追加:小田遊水地上流の服部川左岸等の他の地区ではなく、なぜここが選ばれたかの説明があるべきではないか。	原田 泰志
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(追加)	治水-13-2	5.3.1	堤防補強	木津川上流	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	追加:小田遊水地上流の服部川左岸等の他の地区ではなく、なぜここが選ばれたかの説明があるべきではないか。	原田 泰志
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(治水-15)	治水-16	5.3.1	上野遊水地事業	木津川上流	検討／試行／実施	実施可	倉田 亨
					検討／試行／実施	可 川上ダムについては代替案を更に検討する。	尾藤 正二郎
					検討／試行／実施	可	米山 俊直
					検討／試行／実施	あと717億必要。予算の獲得は？必要と思う。	和田 英太郎
					検討／試行／実施	コメント: 上野盆地の治水は川上ダムより優先度が高く、より早期に完成させるべきではないか。早期完成を明記するべき。	原田 泰志
(治水-19)	治水-21	5.3.1	小谷地区浸水対策	木津川下流	検討／試行・委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 まちづくりを視野に入れて実施。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
(治水-25)	治水-27	5.3.1	砂防堰堤、山腹工	瀬田川、木津川	実施	砂防ダムの目的はあくまで山地の侵食防止が原則である。1959年の伊勢湾台風による大災害で大量の土砂が生産・流出した際に、これらの土砂の再移動をコントロールするために設置されたものが大部分をしめる。当時の地域の人々に対する安心感を持たせるための措置であったことは否めない。また、当時の社会情勢のもとで行われたものが、40年以上たった現時点において批判を浴びるのは致し方のないことである。自然環境を回復させる前に、流出土砂をコントロールするのが優先課題であったのである。流水の縦断的な不連続性、景観上好ましくない、リクリエーションに対する不親切さなどの点で自然破壊であるという見方をされるのであるが、当時の河川管理者に対して以上の点を要求するのは酷なことであって、今後これらの諸問題に対して改善なり、修復を加えていきたいものである。本淀川委員会としては現存の砂防ダムに対する改善と修復を提案すると共に、新たに設置する砂防ダムを含めた構造物の全てについて、自然環境や景観さらにはリクリエーションなどに配慮した構造物を計画するよう勧告すべきである。	大手 桂二
					実施	賛成	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					実施	可	尾藤 正二郎
					実施	可	米山 俊直
					実施	砂防堰堤、山腹工 土砂災害は人命被害が大きいので、ある意味では浸水より重点的に考える必要がある。しかし、ここでもハザードマップの活用など、危険地域からの人や資産の移動を考える必要がある。とくに、老人施設などが安易に建設されることなどは、戒められなければならない。	谷田 一三
					実施	修正、追加:他の治水事業にくらべ、不明確にしか記述されていない。実施と書くなら、どこになにを設置予定であるのか、またその必要性、代替案、工法、自然環境への影響等の検討結果を記すべきではないか。	原田 泰志
					実施	予算規模を明記する。	和田 英太郎
(利水-3)	利水-3	5.4.	既設水源開発施設の再編と運用の見直し	既設ダム	検討／実施	賛成	倉田 亨
					検討／実施	賛成。日吉ダムの例が示すように、取水状態の的確な把握による効果的な補給は、ダムの利水機能を高めるものであります。	田村 悦一
					検討／実施	可	米山 俊直
					検討／実施	既設ダムの連携による効率的な補給の検討はぜひともやってほしい。	池淵 周一
					検討／実施	「取水実態を精査した効率的な補給を検討」:実施かつ検討で可。但し、直轄のダムだけではなく、地方自治体や企業などの持つすべてのダムについても、同様のことを主体的・主導的・積極的に検討することが、とくに重要である。	川那部 浩哉
					検討／実施	「問題あり」既設ダム間の連携は検討に値すると思うが、連携構想を工事中または新規ダムまで拡大することは今後流域委員会との間で慎重な協議が必要と理解している。	畚野 剛
(利用-5)	利用-5	5.5.1	円滑な水面利用の確保	桂川・木津川	検討	賛成	倉田 亨
					検討	可	米山 俊直
					検討	1. カヌー・手漕ぎボートのためのアプローチ改善の具体的な計画内容 2. 「水を利用した遊び」「水泳」「魚釣り」に利用可能な場所の調査と実施計画	榎屋 正
					検討	手漕ぎボート・カヌー等による円滑な水面利用は必要としても、本来の河川環境が損なわれるような施設の変更はなされるべきではない。	田村 悦一

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討	占用権の一定期間ごとの見直しを提言に沿った排他的独占的利用の制限に向けて行っていくことが重要。積極的に促進すべき河川の利用を援ける。(施設づくり、利用をたすけるヒントの広報、人づくり・・・) 利用希望の利害調整だけでなく、目ざしている河川環境についての理解を深めあう場としてほしい→河川保全利用委員会(仮称)	山本 範子
					検討	カヌーやボートのためだけの河川環境に影響を及ぼしそうな改善には疑問がある。	渡辺 賢二
(維持-3)	維持-3	5.6	地域住民と連携した維持管理(事例)	木津川・桂川	実施	賛成	倉田 亨
					実施	協働を河川管理者側から、積極的に呼びかければ、もっと事例を増やしていけると思います。	細川 ゆう子
					実施	可	米山 俊直
					実施	「地域住民と連携した維持管理」と言えば聞こえが良いが、外来種の導入を促す活動にならぬように検討が必要である。	有馬 忠雄
					実施	1. 猪名川バージョンのこの維持管理シートがない。作成を希望する。 2. 住民と連携した維持管理活動においてコーディネーター、ゴミ減らしの市民への啓発など、河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
					実施	維持-3 維持管理を通年で住民と話しあいながら連携して行っていく取り組みが必要。河川レンジャーもここで話し合いのコーディネートができるのでは。事業費はゼロということでしょうか。予算がつかないと効果が期待できないのではと思いますが。	山本 範子
					実施	H25年までの10年計画か	和田 英太郎
(維持-15)	維持-15	5.6	安全利用のための対策	淀川・宇治川・桂川・木津川	検討	賛成	倉田 亨
						ぜひ促進してください。	山本 範子
						可	米山 俊直
						流域センターの管理のもとに、淀川レンジャーを中心に、NPO、地域住民に対応してもらおう。(災害時には、中・高・大学等の学校単位の協力も必要) 一級河川敷の年間を通しての次世代の子供達のための理想的都市河川公園を目標として、公衆便所、各関連省庁の了解のもとにスポーツ施設を含めた多目的利用を一定の制限のもとに互いに理解し、護りあって利用出来るように、ここでも流域センター(救護施設)、河川レンジャー(としての人間関係)が必要となる。	小竹 武
						生態系の回復を図っているところに、安易に通路をつけることは避けてください。あまり通りやすくすると、バイクが入るなど、予想外の利用をされる場合もあります。	細川 ゆう子

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						1. 身障者団体などの意見を聞いて、意見を反映させる。 その際に河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
						猪名川では地域要望がなく対象になっていないのか。	池淵 周一
(ダム-1)	ダム-1	5.7.1	生息・生育実態を定期的に調査	既設ダム	実施	重要。改訂河川法の目的達成の確認に…、大賛成。	倉田 亨
						可	尾藤 正二郎
						可 さらに推進	米山 俊直
						「賛成」調査結果を積極的に公表すべき。	渡辺 賢二
						1)過去10年間の河川水辺の国勢調査(ダム湖)結果の評価がどのような良好なダム管理に反映されたかを一般にわかりやすく公表する努力をする。 2)調査項目、方法の再検討を行う。 3)ダム建設前のデータとの比較を行う必要がある。	川端 善一郎
						一庫ダムで実施している景観の復元調査を実施すべきである。	服部 保
						追加:これまでの調査内容(手法努力量等含む)の再検討(みなおし)を行ったうえで、調査を継続することを明記。	原田 泰志
						「実施可」ただし蓄積された情報の活用法、住民へのデータ、活用事例の公開に留意されたい。	畚野 剛
						1. 住民参加による調査項目の設定の検討と住民参加による調査を検討する。 調査や住民とのコーディネート、調査のまとめと情報発信など河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						基本的に「可」。生物の生息・生育を定期的に行うことは大いに賛同できるが、その実施に当たっては調査目的を代表できる場所と調査日を考える必要がある。例えば調査日で言えば、春夏秋冬という視点が必要なのか、生物の生態変化の視点が必要なのかなどがある。	三田村 緒佐武
						全項目とはいかないが、何年かに一度は関連する数項目を同時に調査することも必要では。	池淵 周一
						コメント準備中	村上 悟
(ダム-2)	ダム-2	5.7.1	ダム水源地域の活性化に向けた湖面活用や周辺環境整備	既設ダム	検討/実施	可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						利水目的のダムについては「実施不可」 理由：観光地化は水質の保持と相反する行為として賛成しかねる。	畚野 剛
						下流受益地との交流活動が進むインセンティブが働く施策とは何か。経済的インセンティブも考えては。	池淵 周一
						公園整備等周辺環境整備においても、自然修復「自然が自然をつくる」立場で実施して欲しい。	川端 善一郎
						賛成。ただ、地域の活性化が、自然環境破壊をもたらさないようくれぐれも留意すること、及び、地元自治体や住民との緊密な連携を望みます。	田村 悦一
						基本的に可 主として、ダム水源地域の自然特性を守り生かす取り組みを支援する。	寺川 庄蔵

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						「湖面活用」は余り考えるべきでない。問題発生の場合困る。	倉田 亨
						部分的(否)すばらしい自然を壊してダムをつくっているのであり、まるでダムができて素晴らしい自然がある様な記述は美化しすぎています。環境という主軸を考えてもダムは環境破壊の最たるものであることは周知のことです。「広い森林を保全し・・・守っている」は、まさしく森林が流域にどれだけ重要であるかであり、ならば環境、治水、利水の項目になぜ記述できないのか、疑問、不信を抱きます。「湖面活用」は削除、必ず問題が発生します。 活性化についても、ダム湖の悪化につながらない事を明記すべき。	田中 真澄
						一庫ダム周辺は生態、景観、文化、歴史上日本一の里山が広がっているが、このような良好な自然環境をPRすべきである。水源地域ビジョンの推進では布目ダムの例が示されているが、一庫ダムの例は示さないのか。	服部 保
						湖面活用は基本的には削減していくべき。ただし、次世代の人づくりのため、環境学習等の場など河川環境の理解に役立たせることを考慮して整備することは望ましい。ただし、ダムの効用誘導型の施設整備などは慎重にしなければならぬことはいうまでもない。	三田村 緒佐武
(ダム-3)	ダム-3	5.7.1	河川利用者に対する安全を図るためのハード面とソフト面の充実・強化	既設ダム	検討/実施	実施可。	川端 善一郎
						可	寺川 庄蔵
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						「実施可」	畚野 剛
						「可」。	三田村 緒佐武

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						実施で可。	村上 悟
						可	米山 俊直
						晴天にもかかわらず後期放流がなされているので洪水警報が発令されている。このことが理解できるように情報表現を。ライン河沿いにある水位が時計盤になる量水時計もおもしろい。	池淵 周一
						左程重要と思えない。河川管理当局がデータをキチンと把握を優先願いたい。	倉田 亨
(ダム-4)	ダム-4	5.7.1	ダム付属設備の計画的な補修を実施	既設ダム	実施	当然実施。	池淵 周一
						実施可。	川端 善一郎
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						「実施可」	畚野 剛
						「可」。	三田村 緒佐武
						実施で可。	村上 悟

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						可	米山 俊直
						可 ダム本体の点検について、ダムの寿命、後処理など重要なことに言及していない。提言で示したように撤去も含め検討が必要である。	寺川 庄蔵
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨
(ダム-5)	ダム-5	5.7.1	流木の有効活用を検討・実施	高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、日吉ダム、一庫ダム	検討/実施	実施可。	川端 善一郎
						賛成	倉田 亨
						「検討でなく、早期に確実に実施すべきである」	小林 圭介
						可	寺川 庄蔵
						可	尾藤 正二郎
						「賛成」ただし作業により水質を汚染しないよう十分留意していただきたい。	畚野 剛
						可 促進の要あり	米山 俊直
						流木が下流への危険物となることを考えると、流木かん止もダムの効果か。その処理に関して流木の所有者との費用分担はあるのか。	池淵 周一
						(可) 文言追加。「洪水時の流木の危険を防止するため、上流山林地からの防止策も検討する」	田中 真澄
						「可」。ただし、流木が発生する原因も解明しておくべき。	三田村 緒佐武

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(追加)	ダム-6-1	5.7.1.(12)	既設ダムの再編・運用変更により治水効果を検討	既設ダム	検討	可	寺川 庄蔵
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						「異議あり」理由:一方でダムの現状は実力低下という説明があり、その一方本項で「最大限利用」といわれるが、論理的に矛盾していると思う。直感的かもしれないが、このような発想は安直な印象を受けます。	畚野 剛
						既設ダム群間での可能性検討は。名張川における事例ぜひとも検討を。	池淵 周一
						賛成。ただし、この調査検討が、安易にダム新設の理由として利用されないように(例えば、大戸川ダム建設が、日吉ダムの利水機能の振替を理由のひとつとして提起されているように)。	田村 悦一
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨
						一部(否)再編図によると治水容量まで利水容量を100%とした場合、下流で合流する他の一方のダム河川までの河川水位についての策を記述しなければならない。	田中 真澄
						計画中のダムへの有効条件になっていないか疑問である。	渡辺 賢二
(ダム-6)	ダム-6-2	5.7.1	既設ダムの再編・運用変更により治水効果を検討	高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、一庫ダム、日吉ダム	検討	可	寺川 庄蔵

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						(否)計画策定時のダム目的から変更されてきた理由と経緯の記述が必要。又、計画変更後の振替計画を実現するために新しいダムをつくる発想は安易であります。 琵琶湖流域の洪水時期に大戸川だけに水がある保証の記述が必要。	田中 真澄
						「疑問あり」一庫ダムに関して最近運用変更を行ったばかりであり再検討の余裕はほとんどないのではないか？	畚野 剛
						名張川・宇陀川合流点と大屋戸橋との間の区間は名張市市街地に接しているが、大変自然(河川)環境・生態系豊かな貴重な場所であるため、治水対策を実施する場合にも充分環境に配慮することが重要である。また、右岸河川敷に遊歩道を設置したいとの地元要望があるが、自然環境保全のために絶対実施すべきではない。竹林は昔の水害防備林で現在もその役割を果たすと考えられ、万一の場合にも地域に壊滅的被害は起こらないと思われるので、当面は要所のための対策でよい。	川上 聡
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨
						計画中のダムへの有効条件になっていないか疑問である。	渡辺 賢二
(ダム-14)	ダム-14	5.7.2	川上ダム建設事業	川上ダム	調査・検討	可	米山 俊直
						大改訂:淀川部会からの意見(9月5日委員会提出)にそった見直しを行うことを明記する。	原田 泰志
						予算はあるのか。建設の理由をもっと明確に。	和田 英太郎
						オオタカやオオサンショウウオだけが予定地周辺の生物ではない。水没してしまう生物環境の実態を調べておく必要がある。真の環境保全策はそこから生まれるはずである。	有馬 忠雄
						ダム建設は自然環境および地域社会へ及ぼす不可逆的な影響が大きいため建設しないことが至当。オオサンショウウオの棲息している河川は食餌から繁殖に至るすべての棲息環境をまるごと保全すべきである。このことからできるだけ河川改修などの人為、ダム建設などによる壊滅的ダメージは避けることが基本である。「天然記念物」を尊敬・尊重して末永く伝えることは現代に生きる我々の使命である。	川上 聡
						代替案の検討が先でしょう。	倉田 亨
						最適、最善な対策として疑問点が多く、十分な調査と検討が必要	塚本 明正
						別紙参照	尾藤 正二郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						ダム建設の代替案を十分検討された後にダム建設の是非が判断されよう。その後に示された整備内容の評価が可能になる。なお、これに関しては淀川水系のみならず関わる流域住民の合意形成をはからなければならないことはいうまでもない。	三田村 緒佐武
(ダム-15)	ダム-15	5.7.2	貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える生物環境等の調査・検討	川上ダム	調査・検討	調査・検討進めるべし。	倉田 亨
						賛成。＜理由＞最適、最善な対策として疑問点が多く、十分な調査と検討が必要	塚本 明正
						可	米山 俊直
						検討はしておく。	和田 英太郎
						「川上ダム周辺で生息・生育を確認した動植物の種類(2/4)」は何を示そうとしているのか分からない。これだけの生きものが水没してしまうのか、建設に先立って調べておく環境調査の内容がこの程度なのか？環境調査・生物調査の概念が不十分に思われる。(3/4)の保全対策の殆どはモニタリング調査結果を待たねば、保全策たりうるかどうか不明である。	有馬 忠雄
						調査検討を行う期間はこれぐらいでやれるか。	池淵 周一
						別紙参照	尾藤 正二郎
						詳細に検討されるべき。	三田村 緒佐武
(ダム-16)	ダム-16	5.7.2	貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う水質への影響の調査・検討	川上ダム	調査・検討	実施可。	川端 善一郎
						調査・検討進めるべし。	倉田 亨
						可	米山 俊直
						検討はしておく。	和田 英太郎
						流入源対策は。	池淵 周一
						コメント:シミュレーション結果のうちSSについてのものが第二稿と異なっている(ダムなしのときの値が約半分になっているように見える)。こちらが正しいと思っよいのですか？	原田 泰志
						別紙参照	尾藤 正二郎
						詳細に検討されるべき。	三田村 緒佐武

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(ダム-24)	ダム-24	5.7.2	土砂移動の連続性の確保する方策検討	各ダム	検討	重要。直ぐにでも研究・調査を。	倉田 亨
						水質とともに水の「状態(密度・圧力、温度、速度、成分と各分布は一体)」の認識必要。混層流としても。	塚本 明正
						検討で可	西野 麻知子
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						検討はしておく。	和田 英太郎
						調査検討内容が多く、このスケジュールで影響調査まで含めてできるのか。	池淵 周一
						琵琶湖に供給される土砂量の減少はダムが原因としているが、本来、土砂の供給の多くは河岸段丘の形成にみられるように護岸や河床を侵食することによって確保されていた。しかし、治水のための人工護岸、川幅の拡幅や天井川などの河川形状の変遷によって、護岸や河床からの供給が途絶えたことも土砂量の減少の大きな原因となっている。例えば、これまでに堆積した愛知川ダムの約60万m ³ の土砂を約30km下流の琵琶湖まで敷きつめたら数cmにしかならず、ダムが琵琶湖への土砂の供給を阻害している主たる原因とはいえない。	小林 圭介

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						<p>基本的に可 しかし、4つのダム堆砂対策のイメージ図をあげているが、いずれも多くの問題がある対策であり、十分検討しないと取り返しのつかない事態を招きかねない。すなわち、堆砂のヘドロ化、水質汚染・汚濁、高費用、メンテナンスの難しさ、などである。 琵琶湖では浜欠けの原因にもなっており、解決が急がれるが、要はこの面でも新たなダムは造らないほうが良いということである。</p>	寺川 庄蔵
						「可?」。慎重に検討・調査されるべき。	三田村 緒佐武

淀川部会関連分 桂川に関連する事業

本資料は、基礎原案に係る具体的な整備内容シートより淀川部会に関連すると考えられるシートを河川別に分類し、それらのシートに関する委員からの意見を庶務がまとめたものです。

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(環境-17)	環境-17	5.2.1	縦断方向の河川形状修復の実施(魚類の遡上・降下)	桂川支川小泉川	実施	本川に接続する小支川で魚や甲殻類の遡上を妨げている落差工に新たに魚道を整備することは大変意義のある取り組みである。小泉川は河道幅も広くないことから、水量変化に対応できる傾斜式全断面魚道の設置が望ましい。施工前の生物モニタリングと施工後の遡上・降下の効果の確認が大切である。	川上 聡
					実施	小規模な落差工の修復、魚道のあり方などの例として、早急に実施され、モニタリングの結果を生かして、今後の事業に役立ててほしい。(魚道小委員会をつくっては?)	紀平 肇
					実施	実施可	倉田 亨
					実施	賛成です。さらに、このような試みが、小泉川以外の支川でも、継続して行われるよう期待します。	田村 悦一
					実施	現地を見に行きました。実施を待ち望んでおります。実施方法や優先順位について、専門家の方のご意見もあるかと思われま。実施は下流から、という話も承知していますが、ここは地域に密着した場所で、子どもたちや地域の川を考える関心がゆきやすい場所であるので、遡上可能な方法で実施を待たれる所と思います。	山本 範子
					実施	可	米山 俊直
					実施	他の魚道不備の井堰についても、早急に調査、検討をすべし。	渡辺 賢二
					実施	1.(3/4) 事業効果について、「……自然な状態の復元が期待される。」と変更する。 2. 「2.検討手法」の流れの中に、「事後調査の計画・検討」を追加すること。	有馬 忠雄
					実施	「縦断方向の河川形状の修復の(?)実施(魚類の遡上・降下)」[桂川支川小泉川]:実施で可。但し、魚道の天端を曲面にしていかなる流量のときにも遡上・降下の容易になるようにするなど、若干の変更が望ましい。以下同様。	川那部 浩哉
					実施	「可」ではあるが、事業地区だけでなく淀川水系全域においても配慮が必要。	三田村 緒佐武
(環境-20)	環境-20	5.2.1	縦断方向の河川形状の修復の検討(魚類の遡上・降下)	桂川	検討／淀川環境委員会	「縦断方向の河川形状の修復の(?)検討(魚類の遡上・降下)」[桂川久我井堰]:検討で可。	川那部 浩哉
					検討／淀川環境委員会	実施可	倉田 亨
					検討／淀川環境委員会	賛成です。魚道の整備は、真に実効性があるものかどうかを検討し、優先順位を決めて、早急に実施されることを望みます。	田村 悦一
					検討／淀川環境委員会	可	米山 俊直
					検討／淀川環境委員会	これらの八つの井堰は嵐山地区より下流の桂川(直轄管理区間)に位置しており、いずれの井堰も魚道の不備により、魚類等の遡上、降下が妨げられており、縦断方向の連続性が欠落している。魚道の整備は下流から順に行っていくことが理想であるが、できることから実施の段階にもって行ってほしい。因みに淀川最下流の淀川大堰の改修による魚道の整備は最重要課題である。	渡辺 賢二

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／淀川環境委員会	「久我井堰」。現在の階段式魚道は殆ど役立っていない。水位の高いときは、ここでは魚道は関係なく遡上できる。低いときが重要で、低いときに水が1ヶ所に集まり、下流部に休むところ、鳥などの捕食をさけるための深い所がある。側流式魚道ができればよい。	紀平 肇
					検討／淀川環境委員会	1. (2/4)「魚道整備事例」の場所が不明。また、これは成功例を示しているのか？ 2. (3/4) 事業効果について、「……生息の場として復元されることが期待される」と変更すること。 3. 「2.検討手法」にモニタリングに関する流れが必要である。	有馬 忠雄
					検討／淀川環境委員会	コメント(以下環境-25まで共通):小規模な改築により遡上環境の改良が可能かどうか、十分な検討が必要と思われる。たとえば、魚道施設を改良できても、農業用水の取水のしかたを改めないと魚道に適正な(多すぎず少なすぎない)流量を流すことが不可能な場合はないか。個々の事例ごとに検討が必要であろう。	原田 泰志
					検討／淀川環境委員会	現地へ何度も行きました。淀川部会の現地視察の折には専門家の委員から、洛西土地改良区への農業用水供給量は面積あたりひじょうに大きなものである、との指摘もありました。堰については統廃合も考慮されるよう希望します。	山本 範子
(環境-25)	環境-26	5.2.1	魚類等の遡上・降下可能な方策を検討	既設ダム	検討／委員会	実施可。限定された魚類を調査対象とするのではなく、すべての遡上、降下生物を調査の対象とすべき。水量調節を考慮した管理方法を検討すべき。	川端 善一郎
					検討／委員会	実施可(むずかしく、専門家帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／委員会	可	寺川 庄蔵
					検討／委員会	可	米山 俊直
					検討／委員会	(否)魚は他の全ての水中生物と共生しているから、水中生物、全ての道に失ってはならない。仮に図の様な計画が実現してもダム湖にたどりついた川の魚達にとってダム湖の水環境は余りのも悪く、可哀想。	田中 真澄
					検討／委員会	青野ダム事例が紹介されているが、このダム本体は別にして、下流などの中小堰の改修がされていないため、ほとんど効果がないという指摘がある。	谷田 一三
					検討／委員会	既設ダムへの魚道の設置はすべての面でリスクが大きく、非現実的と判断せざるを得ない。従って、代替案の検討こそが、より有効な改善策を生み出せるものと思われる。代替案については明確ではないが、ダム湖への高度な水質浄化システムの導入(今後の開発に期待)とダム湖への流入河川の連続性を回復させ、ダム湖から上流の河川環境の保全・再生を図るべき。	渡辺 賢二

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会	「縦断方向の河川形状の修復の(?)検討(魚類の遡上・降下)[既設ダム]:検討可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					検討／委員会	「追加？」ダムの外来魚対策もセットで検討することが望ましい。	畚野 剛
					検討／委員会	コメント: 検討要素にコストも含めたうえで、可否を含めた検討を十分に行うべき(魚道だけでなく他の方策についても)。検討の材料とするため、例としてあげている青野ダム魚道の事業効果の評価を国土交通省で厳密に行うことを考えてもよいのではないか。	原田 泰志
(環境-29)	環境-32	5.2.3	ダム・堰運用による水位変動、攪乱の増大の検討	既設ダム	検討／試行	実施可。	川端 善一郎
					検討／試行	実施可(むずかしいため、専門家の帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／試行	可	寺川 庄蔵
					検討／試行	可	仁連 孝昭
					検討／試行	「賛成」ただし試行の効果のモニタリングが不可欠。	畚野 剛
					検討／試行	可です。来年度から、他のダムとなっているのは、一斉になのか、順次なのか分かりません。決まっているなら、明記してほしい。	細川 ゆう子
					検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	検討内容を各ダム間で統一する項目も必要	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行	(否) 高山ダム湖内のアオコなど富栄養化で悪化した水を放流しても藻類リフレッシュやシルトの清掃はできないと思われ、まず湖内の水質浄化をしなければ解決にならない。現況の水質では攪乱を繰り返すほど、低水位になれば状況は悪くなる。	田中 真澄
					検討／試行	「ダム・堰運用による水位変動・攪乱の増大の検討[ダム所在地先]」:検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					検討／試行	高山ダムなどの攪乱放流は、大事な試みであるが、日本のダムでは人工放流に使える容量が少ないので、単独では流量が不足する。中規模以上の洪水に上乗せ放流をする、技術の開発を考えて欲しい。淀川大堰の操作にも共通する課題かもしれない。	谷田 一三
					検討／試行	追加:重要度で優先順位をつけられたことは良いと思う。モニタリング項目には、魚類(例:漁業的にはアユの摂餌量、成長、移動等)も含めるべきであろう。	原田 泰志
					検討／試行	1. モニタリングへの住民参加の検討。 2. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)	本多 孝
					検討／試行	基本的には「可」。ただし、事業地区だけでなく他のダム湖においても検討されるべき。とくに、ダム湖水の滞留時間と富栄養化との関係を検討・試行していただきたい。	三田村 緒佐武
(環境-36)	環境-40	5.2.4	選択取水設備の継続活用及び各種の既設ダム	既設ダム	検討／実施／委員会	実施可	倉田 亨
					検討／実施／委員会	可	米山 俊直
					検討／実施／委員会	これまでの検討結果を整理する	和田 英太郎
					検討／実施／委員会	「疑義あり」:この設備だけでは解決できない。(一庫ダムの)水質改善には上流からの生活廃水流入対策を手遅れにならないうちに検討・実施の必要がある。今後ダム建設は困難になると予想され、一庫ダムは川西市民の水ガメとして大切にしていきたい。一庫ダムから余野川ダムへ利水の振り替えは安易な考えではないでしょうか?	畚野 剛

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／実施／委員会	「選択取水設備の継続活用及び各種の検討」:検討で可。但し、既設の選択取水設備を単に活用するだけでなく、その問題点を抉りだすような検討事項とすべきである。	川那部 浩哉
					検討／実施／委員会	実施可。深層水の放流に際しては水温のみではなく、DOの下流生態系に与える影響にも留意する。	川端 善一郎
					検討／実施／委員会	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					検討／実施／委員会	ダムにおける水質改善装置については、設置運転コストに見合うだけの効果があるかの検証が必要である。	谷田 一三
					検討／実施／委員会	追加:運用を下流にとって最適な形に弾力化することも検討してはどうか。たとえば、流入水温と同じ温度での放流を基本に現在操作が行われている場合に、冷水病の発症予防のためにより表層の水を放流する可能性も検討してはどうか。将来的には冷水病アユ放流の禁止等による川からの冷水病の根絶が望ましいが、短期的には、上記のような運用の弾力化による対応可能性の検討もありうると考える。	原田 泰志
					検討／実施／委員会	おおむね「可」。ただし、取水時期と取水深度により、下流域の産業、交通、生活環境に大きく影響をもたらす。その意味ではマルチ深度取水を検討するのよい。	三田村 緒佐武
					検討／実施／委員会	維持管理には地球環境に配慮した手法を優先的に取り入れる。 例:電力を使わない、など。大型施設を作り維持管理に費用がかかるといった方策を避ける。	山本 範子
					検討／実施／委員会	現状ではやむなし 選択取水機能の改善が望まれる。基本的には総合的な水質および底質の改善をはかること。	寺川 庄蔵
(環境-37)	環境-41	5.2.4	曝気設備の継続活用及び各種の検討	既設ダム	検討／委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／委員会／実施	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会 ／実施	「疑義あり」:この設備だけでは解決できない。(一庫ダム)の水質改善には上流からの生活廃水流入対策を手遅れにならないうちに検討・実施の必要がある。今後ダム建設は困難になると予想され、一庫ダムは川西市民の水ガメとして大切にしていきたい。一庫ダムから余野川ダムへ利水の振り替えは安易な考えではないでしょうか？	畚野 剛
					検討／委員会 ／実施	「曝気設備の継続活用及び各種の検討」:検討で可。但し、既設の曝気設備を単に活用するだけでなく、その問題点を抉りだすような検討事項とすべきである。	川那部 浩哉
					検討／委員会 ／実施	実施可。水質改善がみられた面積、範囲を明らかにすべき。水塊の流動範囲とDOの改善範囲が一致するかどうかを検討すべき。	川端 善一郎
					検討／委員会 ／実施	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					検討／委員会 ／実施	ダムにおける水質改善装置については、設置運転コストに見合うだけの効果があるかの検証が必要である。	谷田 一三
					検討／委員会 ／実施	維持管理には地球環境に配慮した手法を優先的に取り入れる。 例:電力を使わない、など。大型施設を作り維持管理に費用がかかるといった方策を避ける。	山本 範子
					検討／委員会 ／実施	何をもって効果の指標とするのか検討が必要	和田 英太郎
					検討／委員会 ／実施	おおむね「可」。ただし、安易にばっきによる鉛直混合促進に頼るべきでなく、なぜ環境悪化をきたすかを検討し、その根本対策を講じるようにしなければならない。	三田村 緒佐武
					検討／委員会 ／実施	深層曝気はかえって赤潮を促進させるとの疑問もあるため、技術的にもさらなる検討が必要。	渡辺 賢二
(環境-38)	環境-42	5.2.4	底質調査の継続実施と改善対策等の検討	既設ダム	調査検討／調査実施	実施可	倉田 亨
					調査検討／調査実施	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					調査検討／調査実施	「底質調査の継続実施と改善対策等の検討」:検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					調査検討／調査実施	実施可。実施調査項目によって汚濁メカニズムが解明できるのかどうか検討すべき。	川端 善一郎
					調査検討／調査実施	添付されている写真は底泥調査のものではない。バンドーン採水器を持っている。また、布目、室生、青連寺、高山など相互に関連するダムにあっては、底泥形成や藻類繁茂など有機的に連携しているため、相互の実態を把握し、制御管理につなげるべきである。	宗宮 功
					調査検討／調査実施	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					調査検討／調査実施	「賛成」とくに一庫ダムにおいては上流直近に広域ごみ処理施設の計画があり、状況によっては測定項目にダイオキシン等の追加の必要性も留意されたい。	畚野 剛
					調査検討／調査実施	「可」。ただし、水質改善、底質改善につながる調査内容(調査項目と採取地点、その時期)としなければならないことはいうまでもない。従前の環境基準にあるからという姿勢では環境改善が困難であることがしばしばある。	三田村 緒佐武
					調査検討／調査実施	底質調査は年1～2回ということですが、大気中の調査も定点で月1回なされている。あまり変化がないから年1～2回でよいのでしょうか。利水、飲料水としても使われ、生物にも影響があると思われる。今後調査頻度を上げる方向で検討を望みます。長期的には住民の関心が高まることだと思います。	山本 範子
(環境-39)	環境-43	5.2.4	河川の水質保全対策(淀川流水保全水路)	淀川・桂川	検討／試行	「河川の水質保全対策(淀川流域保全水路)」:検討で可。	川那部 浩哉
					検討／試行	実施可	倉田 亨
					検討／試行	可です。ただ、猪名川でも検討してほしい。	細川 ゆう子
					検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	(可)分流方式の検討。実験は大切だが、優先順位から考えれば支川など上流域からの水質改善(森林や緑の浄化への保全など)先ず、実施しなければならない。下流域の浄化負担が軽減される。	田中 真澄
					検討／試行	必要であるが、実施内容が不明。	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行	根本的にその機能を再検討すべきである。河川水質にとって、より安全となる方策を実証的に検討する場とするか、あるいは、各都市の下水処理に安全面から高度処理を求めるのがより実効的であるかを判断する場として、再構築すべきである。	宗宮 功
(環境-41)	環境-45	5.2.5	土砂移動の障害を軽減するための方策を検討	既設ダム	検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	可。但し概算、必要年数等々のプランを明確化。	和田 英太郎
					検討／試行	重要(これまで、なおざりにになっていた)なので必ず実施を！！可	倉田 亨
					検討／試行	「疑義あり」：直感的には森林の土砂流出防止と下流への土砂供給とは相反するように感じるのですが？	畚野 剛
					検討／試行	実施可。下流に運んだ土砂の流し方を検討する。特に生物の生息環境を破壊しないダム下流の流量と土砂の流し方の検討が必要。	川端 善一郎
					検討／試行	排砂が下流の河床変動に与える影響を予測して排砂計画に反映させる。	水山 高久
					検討／試行	「土砂移動の障害を軽減するための方策を検討」：検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
(環境-54)	環境-58	5.2.6	支川や水路を含めた構造の改善等に向けて、関係機関と連携	-	検討／委員会	一般論として、おおいに推進してほしい事業である。住民意見の聴取あるいは住民の参画を求める時には、農業者や男性だけでなく、子どもや女性たちなどにもかかわってもらい、そのような事業をすすめていることに理解と興味をもってもらうことが重要である。琵琶湖辺での試験的な活動においては、子どもたちはこのような事業には前向きな興味を示し、[子どもがうごくと大人もうごく]ということを実証済みである。	嘉田 由紀子
					検討／委員会	「自然や水路を含めた構造の改善等に向けて、関係機関と連携」：連携の実施と内容の検討で可。主体的・主導的・積極的に進められたい。	川那部 浩哉

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会	賛成	倉田 亨
					検討／委員会	賛成。早急に取り組むべき課題であると思います。	田村 悦一
					検討／委員会	可です。ただ、もっと継続的に流域全体に広げていってほしい取り組みなので、できるところだけ実施するだけに終わらないでほしい。	細川 ゆう子
					検討／委員会	1. 住民参加のワークショップ形式での取り組みの検討。 2. ハード整備(形状修復)だけで終わらない住民参加の場作り、継続したかかわりのできるソフトや仕組み、人材育成の検討を追加記述ください。 3. 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常に住民への情報提供・参加を促せるようにマドロを開けた取り組みを心がけてください。また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。 4. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)	本多 孝
					検討／委員会	水路も含めた構造改善について評価できる。	松本 馨
					検討／委員会	可 重要	米山 俊直
					検討／委員会	農業用水路と河川の連続性確保については、農水省、府県の農水部門との調整・連携・実践に特に力を入れて進めてほしい。	川上 聡
					検討／委員会	「賛成」メダカの住める川の復活のために用・排水路とのつながりを十分「留意」して検討いただきたい。	畚野 剛
					検討／委員会	おおむね「可」。ただし、整備内容によっては住民の利便性と環境保護とが相反する場合がある。可能な限り住民意見の合意をはかるように努めるべき。	三田村 緒佐武
(環境-63)	環境-67	5.2.8	振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用	淀川・宇治川・桂川・木津川	実施	「振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用」:実施で可。但し、なぜ「淀川工事(河川?)事務所管理区間内<全川対象>」だけなのか、疑問は尽きない。	川那部 浩哉

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					実施	(可)	田中 真澄
					実施	可	米山 俊直
					実施	施工場所の条件によって、また機械運転方法によって異なるだろうから、機種やサイズ・運転法の望ましい方法をマニュアル化する検討を頂いてはどうか。	倉田 亨
					実施	施工機械の低環境負荷型の導入は環境面からも積極的に早期に実施する必要があります。しかし施工業者の側が大手に限られるなど対応に時間のかかる中小業者については導入促進のアドヴァンテージを与える、支援するなど必要ではないでしょうか。	山本 範子
					実施	効果のモニター法について述べる	和田 英太郎
(治水-11-1)	治水-11-1	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の効果の説明がほしい。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(治水-11-2)	治水-11-2	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の効果の説明がほしい。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(治水-11-3)	治水-11-3	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の効果の説明がほしい。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(追加)	治水-11-4	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(追加)	治水-11-5	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(追加)	治水-11-6	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(治水-11-4)	治水-11-7	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の効果の説明がほしい。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-11-5)	治水-11-8	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の効果の説明がほしい。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-11-6)	治水-11-9	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の効果の説明がほしい。	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(追加)	治水-11-10	5.3.1	堤防補強	桂川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	治水対策としての堤防補強はきわめて重要で、工事の早急な実施ないし継続が必要であるが、その際にも、工事が環境面に与える影響や、環境保全の検討が望まれる。以下(～11-10)同じ。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榎屋 正
(治水-18)	治水-20	5.3.1	大下津地区堤防拡幅	桂川	検討／試行・委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	賛成。継続中の未整備事業は、早急に整備される必要がありますが、その際にも、整備事業の環境面への配慮や環境保全のための検討が疎かにされないよう望みます。	田村 悦一
					検討／試行・委員会／実施	可 まちづくりを視野に入れて実施。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	事業費が高額のため意見なし(400億円)	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(利水-3)	利水-3	5.4.	既設水源開発施設の再編と運用の見直し	既設ダム	検討／実施	賛成	倉田 亨
					検討／実施	賛成。日吉ダムの例が示すように、取水状態の的確な把握による効果的な補給は、ダムの利水機能を高めるものであります。	田村 悦一
					検討／実施	可	米山 俊直
					検討／実施	既設ダムの連携による効率的な補給の検討はぜひともやってほしい。	池淵 周一
					検討／実施	「取水実態を精査した効率的な補給を検討」：実施かつ検討で可。但し、直轄のダムだけではなく、地方自治体や企業などの持つすべてのダムについても、同様のことを主体的・主導的・積極的に検討することが、とくに重要である。	川那部 浩哉
					検討／実施	「問題あり」既設ダム間の連携は検討に値すると思うが、連携構想を工事中または新規ダムまで拡大することは今後流域委員会との間で慎重な協議が必要と理解している。	畚野 剛
(利用-5)	利用-5	5.5.1	円滑な水面利用の確保	桂川・木津川	検討	賛成	倉田 亨
					検討	可	米山 俊直
					検討	1. カヌー・手漕ぎボートのためのアプローチ改善の具体的な計画内容 2. 「水を利用した遊び」「水泳」「魚釣り」に利用可能な場所の調査と実施計画	榎屋 正
					検討	手漕ぎボート・カヌー等による円滑な水面利用は必要としても、本来の河川環境が損なわれるような施設の改変はなされるべきではない。	田村 悦一
					検討	占有権の一定期間ごとの見直しを提言に沿った排他的独占的利用の制限に向けて行っていくことが重要。積極的に促進すべき河川の利用を援ける。(施設づくり、利用をたすけるヒントの広報、人づくり・・・) 利用希望の利害調整だけでなく、目ざしている河川環境についての理解を深めあう場としてほしい→河川保全利用委員会(仮称)	山本 範子
					検討	カヌーやボートのためだけの河川環境に影響を及ぼしそうな改善には疑問がある。	渡辺 賢二
(維持-3)	維持-3	5.6	地域住民と連携した維持管理(事例)	木津川・桂川	実施	賛成	倉田 亨
					実施	協働を河川管理者側から、積極的に呼びかければ、もっと事例を増やしていけると思います。	細川 ゆう子

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					実施	可	米山 俊直
					実施	「地域住民と連携した維持管理」と言えば聞こえが良いが、外来種の導入を促す活動にならぬように検討が必要である。	有馬 忠雄
					実施	1. 猪名川バージョンのこの維持管理シートがない。作成を希望する。 2. 住民と連携した維持管理活動においてコーディネーター、ゴミ減らしの市民への啓発など、河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
					実施	維持-3 維持管理を通年で住民と話しあいながら連携して行っていく取り組みが必要。河川レンジャーもここで話し合いのコーディネイトができるのでは。事業費はゼロということでしょうか。予算がつかないと効果が期待できないのではと思いますが。	山本 範子
					実施	H25年までの10年計画か	和田 英太郎
(維持-15)	維持-15	5.6	安全利用のための対策	淀川・宇治川・桂川・木津川	検討	賛成	倉田 亨
						ぜひ促進してください。	山本 範子
						可	米山 俊直
						流域センターの管理のもとに、淀川レンジャーを中心に、NPO、地域住民に対応してもらおう。(災害時には、中・高・大学等の学校単位の協力も必要) 一級河川敷の年間を通しての次世代の子供達のための理想的都市河川公園を目標として、公衆便所、各関連省庁の了解のもとにスポーツ施設を含めた多目的利用を一定の制限のもとに互いに理解し、護りあって利用出来るように、ここでも流域センター(救護施設)、河川レンジャー(としての人間関係)が必要となる。	小竹 武
						生態系の回復を図っているところに、安易に通路をつけることは避けてください。あまり通りやすくすると、バイクで入るなど、予想外の利用をされる場合もあります。	細川 ゆう子
						1. 身障者団体などの意見を聞いて、意見を反映させる。 その際に河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
						猪名川では地域要望がなく対象になっていないのか。	池淵 周一
(ダム-1)	ダム-1	5.7.1	生息・生育実態を定期的に調査	既設ダム	実施	重要。改訂河川法の目的達成の確認に…、大賛成。	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						可	尾藤 正二郎
						可 さらに推進	米山 俊直
						「賛成」調査結果を積極的に公表すべき。	渡辺 賢二
						1)過去10年間の河川水辺の国勢調査(ダム湖)結果の評価がどのような良好なダム管理に反映されたかを一般にわかりやすく公表する努力をする。 2)調査項目、方法の再検討を行う。 3)ダム建設前のデータとの比較を行う必要がある。	川端 善一郎
						一庫ダムで実施している景観の復元調査を実施すべきである。	服部 保
						追加:これまでの調査内容(手法努力量等含む)の再検討(みなおし)を行ったうえで、調査を継続することを明記。	原田 泰志
						「実施可」ただし蓄積された情報の活用法、住民へのデータ、活用事例の公開に留意されたい。	畚野 剛
						1. 住民参加による調査項目の設定の検討と住民参加による調査を検討する。 調査や住民とのコーディネート、調査のまとめと情報発信など河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
						基本的に「可」。生物の生息・生育を定期的に行うことは大いに賛同できるが、その実施に当たっては調査目的を代表できる場所と調査日を考える必要がある。例えば調査日と言えば、春夏秋冬という視点が必要なのか、生物の生態変化の視点が必要なのかなどがある。	三田村 緒佐武
						全項目とはいかないが、何年かに一度は関連する数項目を同時に調査することも必要では。	池淵 周一
						コメント準備中	村上 悟

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(ダム-2)	ダム-2	5.7.1	ダム水源地域の活性化に向けた湖面活用や周辺環境整備	既設ダム	検討/実施	可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						利水目的のダムについては「実施不可」 理由：観光地化は水質の保持と相反する行為として賛成しかねる。	畚野 剛
						下流受益地との交流活動が進むインセンティブが働く施策とは何か。経済的インセンティブも考えては。	池淵 周一
						公園整備等周辺環境整備においても、自然修復「自然が自然をつくる」立場で実施して欲しい。	川端 善一郎
						賛成。ただ、地域の活性化が、自然環境破壊をもたらさないようくれぐれも留意すること、及び、地元自治体や住民との緊密な連携を望みます。	田村 悦一
						基本的に可 主として、ダム水源地域の自然特性を守り生かす取り組みを支援する。	寺川 庄蔵
						「湖面活用」は余り考えるべきでない。問題発生の場合困る。	倉田 亨
						部分的(否)すばらしい自然を壊してダムをつくっているのであり、まるでダムができて素晴らしい自然がある様な記述は美化しすぎています。環境という主軸を考えてもダムは環境破壊の最たるものであることは周知のことです。「広い森林を保全し・・・守っている」は、まさしく森林が流域にどれだけ重要であるかであり、ならば環境、治水、利水の項目になぜ記述できないのか、疑問、不信を抱きます。「湖面活用」は削除、必ず問題が発生します。 活性化についても、ダム湖の悪化につながらない事を明記すべき。	田中 真澄

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						一庫ダム周辺は生態、景観、文化、歴史上日本一の里山が広がっているが、このような良好な自然環境をPRすべきである。水源地域ビジョンの推進では布目ダムの例が示されているが、一庫ダムの例は示さないのか。	服部 保
						湖面活用は基本的には削減していくべき。ただし、次世代の人づくりのため、環境学習等の場など河川環境の理解に役立たせることを考慮して整備することは望ましい。ただし、ダムの効用誘導型の施設整備などは慎重にしなければならないことはいうまでもない。	三田村 緒佐武
(ダム-3)	ダム-3	5.7.1	河川利用者に対する安全を図るためのハード面とソフト面の充実・強化	既設ダム	検討/実施	実施可。	川端 善一郎
						可	寺川 庄蔵
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						「実施可」	畚野 剛
						「可」。	三田村 緒佐武
						実施で可。	村上 悟
						可	米山 俊直
						晴天にもかかわらず後期放流がなされているので洪水警報が発令されている。このことが理解できるように情報表現を。ライン河沿いにある水位が時計盤になる量水時計もおもしろい。	池淵 周一

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						左程重要と思えない。河川管理当局がデータをキチンと把握を優先願いたい。	倉田 亨
(ダム-4)	ダム-4	5.7.1	ダム付属設備の計画的な補修を実施	既設ダム	実施	当然実施。	池淵 周一
						実施可。	川端 善一郎
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						「実施可」	畚野 剛
						「可」。	三田村 緒佐武
						実施で可。	村上 悟
						可	米山 俊直
						可 ダム本体の点検について、ダムの寿命、後処理など重要なことに言及していない。提言で示したように撤去も含め検討が必要である。	寺川 庄蔵
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(ダム-5)	ダム-5	5.7.1	流木の有効活用を 検討・実施	高山ダム、青 蓮寺ダム、室 生ダム、布目 ダム、比奈知 ダム、日吉ダ ム、一庫ダム	検討/実施	実施可。	川端 善一郎
						賛成	倉田 亨
						「検討でなく、早期に確実に実施すべきである」	小林 圭介
						可	寺川 庄蔵
						可	尾藤 正二郎
						「賛成」ただし作業により水質を汚染しないよう十分留意していただきたい。	畚野 剛
						可 促進の要あり	米山 俊直
						流木が下流への危険物となることを考えると、流木かん止もダムの効果か。その処理に関して流木の所有者との費用分担はあるのか。	池淵 周一
						(可) 文言追加。「洪水時の流木の危険を防止するため、上流山林地からの防止策も検討する」	田中 真澄
						「可」。ただし、流木が発生する原因も解明しておくべき。	三田村 緒佐武
(追加)	ダム-6- 1	5.7.1.(12)	既設ダムの再編・運 用変更により治水効 果を検討	既設ダム	検討	可	寺川 庄蔵
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						「異議あり」理由：一方でダム現状は実力低下という説明があり、その一方本項で「最大限利用」といわれるが、論理的に矛盾していると思う。直感的かもしれないが、このような発想は安直な印象を受けます。	畚野 剛
						既設ダム群間での可能性検討は。名張川における事例ぜひとも検討を。	池淵 周一
						賛成。ただし、この調査検討が、安易にダム新設の理由として利用されないように(例えば、大戸川ダム建設が、日吉ダムの利水機能の振替を理由のひとつとして提起されているように)。	田村 悦一
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨
						一部(否)再編図によると治水容量まで利水容量を100%とした場合、下流で合流する他の一方のダム河川までの河川水位についての策を記述しなければならない。	田中 真澄
						計画中のダムへの有効条件になっていないか疑問である。	渡辺 賢二
(ダム-6)	ダム-6-2	5.7.1	既設ダムの再編・運用変更により治水効果を検討	高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、布目ダム、比奈知ダム、一庫ダム、日吉ダム	検討	可	寺川 庄蔵
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						(否)計画策定時のダム目的から変更されてきた理由と経緯の記述が必要。又、計画変更後の振替計画を実現するために新しいダムをつくる発想は安易であります。琵琶湖流域の濁水時期に大戸川だけに水がある保証の記述が必要。	田中 真澄
						「疑問あり」一庫ダムに関して最近運用変更を行ったばかりであり再検討の余裕はほとんどないのではないか？	畚野 剛

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						名張川・宇陀川合流点と大屋戸橋との間の区間は名張市市街地に接しているが、大変自然(河川)環境・生態系豊かな貴重な場所であるため、治水対策を実施する場合にも充分環境に配慮することが重要である。また、右岸河川敷に遊歩道を設置したいとの地元要望があるが、自然環境保全のために絶対実施すべきではない。竹林は昔の水害防備林で現在もその役割を果たすと考えられ、万一の場合にも地域に壊滅的被害は起こらないと思われるので、当面は要所のみ対策でよい。	川上 聡
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨
						計画中のダムへの有効条件になっていないか疑問である。	渡辺 賢二
(ダム-24)	ダム-24	5.7.2	土砂移動の連続性の確保の方策検討	各ダム	検討	重要。直ぐにでも研究・調査を。	倉田 亨
						水質とともに水の「状態(密度・圧力、温度、速度、成分と各分布は一体)」の認識必要。混層流としても。	塚本 明正
						検討で可	西野 麻知子
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						検討はしておく。	和田 英太郎
						調査検討内容が多く、このスケジュールで影響調査まで含めてできるのか。	池淵 周一

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						琵琶湖に供給される土砂量の減少はダムが原因としているが、本来、土砂の供給の多くは河岸段丘の形成にみられるように護岸や河床を侵食することによって確保されていた。しかし、治水のための人工護岸、川幅の拡幅や天井川などの河川形状の変遷によって、護岸や河床からの供給が途絶えたことも土砂量の減少の大きな原因となっている。例えば、これまでに堆積した愛知川ダムの約60万m ³ の土砂を約30km下流の琵琶湖まで敷きつめたら数cmにしかならず、ダムが琵琶湖への土砂の供給を阻害している主たる原因とはいえない。	小林 圭介
						基本的に可 しかし、4つのダム堆砂対策のイメージ図をあげているが、いずれも多くの問題がある対策であり、十分検討しないと取り返しのつかない事態を招きかねない。すなわち、堆砂のヘドロ化、水質汚染・汚濁、高費用、メンテナンスの難しさ、などである。 琵琶湖では浜欠けの原因にもなっており、解決が急がれるが、要はこの面でも新たなダムは造らないほうが良いということである。	寺川 庄蔵
						「可?」。慎重に検討・調査されるべき。	三田村 緒佐武

淀川部会関連分

宇治川、瀬田川、天ヶ瀬ダム、大戸川ダムに関連する事業

本資料は、基礎原案に係る具体的な整備内容シートより淀川部会に関連すると考えられるシートを河川別に分類し、それらのシートに関する委員からの意見を庶務がまとめたものです。

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(追加)	環境-24	5.2.1	縦断方向の河川形状の修復の検討(魚類の遡上・降下)	瀬田川	検討／委員会	実施可	倉田 亨
					検討／委員会	可	寺川 庄蔵
					検討／委員会	「可」。	三田村 緒佐武
					検討／委員会	可	米山 俊直
					検討／委員会	コメント(以下環境-25まで共通):小規模な改築により遡上環境の改良が可能かどうか、十分な検討が必要と思われる。たとえば、魚道施設を改良できても、農業用水の取水のしかたを改めないで魚道に適正な(多すぎず少なすぎない)流量を流すことが不可能な場合はないか。個々の事例ごとに検討が必要であろう。	原田 泰志
(環境-25)	環境-26	5.2.1	魚類等の遡上・降下が可能な方策を検討	既設ダム	検討／委員会	実施可。限定された魚類を調査対象とするのではなく、すべての遡上、降下生物を調査の対象とすべき。水量調節を考慮した管理方法を検討すべき。	川端 善一郎
					検討／委員会	実施可(むずかしく、専門家帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／委員会	可	寺川 庄蔵
					検討／委員会	可	米山 俊直
					検討／委員会	(否)魚は他の全ての水中生物と共生しているから、水中生物、全ての道にしないでならない。仮に図の様な計画が実現してもダム湖にたどりついた川の魚達にとってダム湖の水環境は余りのも悪く、可哀想。	田中 真澄
					検討／委員会	青野ダム事例が紹介されているが、このダム本体は別にして、下流などの中小堰の改修がされていないため、ほとんど効果がないという指摘がある。	谷田 一三
					検討／委員会	既設ダムへの魚道の設置はすべての面でリスクが大きく、非現実的と判断せざるを得ない。従って、代替案の検討こそが、より有効な改善策を生み出せるものと思われる。代替案については明確ではないが、ダム湖への高度な水質浄化システムの導入(今後の開発に期待)とダム湖への流入河川の連続性を回復させ、ダム湖から上流の河川環境の保全・再生を図るべき。	渡辺 賢二

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会	「縦断方向の河川形状の修復の(?)検討(魚類の遡上・降下)[既設ダム]:検討可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					検討／委員会	「追加？」ダムの外来魚対策もセットで検討することが望ましい。	畚野 剛
					検討／委員会	コメント:検討要素にコストも含めたうえで、可否を含めた検討を十分に行うべき(魚道だけでなく他の方策についても)。検討の材料とするため、例としてあげている青野ダム魚道の事業効果の評価を国土交通省で厳密に行うことを考えてもよいのではないか。	原田 泰志
(環境-27)	環境-30	5.2.2	水位操作の検討(瀬田川洗堰)	瀬田川	検討／試行・委員会	実施可(むずかしいため、専門家の帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／試行・委員会	(可)	田中 真澄
					検討／試行・委員会	琵琶湖の水位操作については、重点的に取り組んで欲しい。	谷田 一三
					検討／試行・委員会	可 試行を慎重につづける。	米山 俊直
					検討／試行・委員会	琵琶湖固有種の成育環境に配慮した水位操作の検討や、冬場の水位操作の再検討はおおいに賛成したい。その際、地元農業者の理解を得る上では、農家にとってどのようなメリットがあるのか、デメリットがあるのか、わかりやすく説明をしながら、若い世代などもまきこみながら、生き物が生息する環境は、子どもの遊び場面としても活用可能であることもふくめて、地元の合意をえるような方向を考えてほしい。	嘉田 由紀子
					検討／試行・委員会	「水位操作の検討(瀬田川洗堰)」:試験操作の実施と水位操作の検討可。とくに、「操作規則の変更を伴うもの」について整備計画に現段階で検討になっているのは、「提言」から見ると当然とは言え、高く評価できる。但し続いては、「提言」等にもあるように、琵琶湖が自然湖沼でありかつ特異な性格を持っていることに鑑み、水位の自然的季節変動を基本に全体的な水位操作の見直しについて、法律改正をも含めて検討しなければならない。整備計画の検討事項として、このようなものが記載されていないのは極めて不自然である。	川那部 浩哉
					検討／試行・委員会	絶滅危惧種のニゴロブナとホンモロコの漁業や釣りなど捕獲による減少の評価を実施したうえで、漁業組合等の協力のもと、少なくともこの2種の捕獲を2、3年間全面禁止して個体数の変動をモニタリングし、水位操作のモニタリング調査結果とを比較検討すべきである。つまり、この2種の減少については、卵を腹に持ったメス個体を集中的に捕獲することによる影響の方が産卵期の20日間における25cmの水位低下による影響よりも大きいことが考えられる。	小林 圭介
					検討／試行・委員会	可 ただし、住民参加、協力が不可欠。	寺川 庄蔵

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会	<p>試行および検討で可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討の途中経過も含め、検討結果を積極的に公表すること。 ・ 操作規則の変更については、シートに書かれている1～3以外の選択肢についても柔軟に検討すること。 ・ 冬期に水位が低下した場合、それに伴う琵琶湖生態系への影響についても検討を行うこと。 ・ 「3. その他の検討」についても、順応的に、効果の有無を検証しながら進めること。 ・ シートのダム7, 8, 13, 17, 19とも連携した検討を行うこと。 	西野 麻知子
					検討／試行・委員会	<p>基本的には「可」。ただし、他の視点からも考慮する必要がある。例えば、琵琶湖水の水質環境を回復させるため、水位操作(琵琶湖面水位)の季節を考えるなど。</p>	三田村 緒佐武
(環境-29)	環境-32	5.2.3	ダム・堰運用による水位変動、攪乱の増大の検討	既設ダム	検討／試行	実施可。	川端 善一郎
					検討／試行	実施可(むずかしいため、専門家の帯同による研究必要←意見)	倉田 亨
					検討／試行	可	寺川 庄蔵
					検討／試行	可	仁連 孝昭
					検討／試行	「賛成」ただし試行の効果のモニタリングが不可欠。	畚野 剛
					検討／試行	可です。来年度から、他のダムとなっているのは、一斉になのか、順次なのか分かりません。決まっているなら、明記してほしい。	細川 ゆう子
					検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	検討内容を各ダム間で統一する項目も必要	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行	(否) 高山ダム湖内のアオコなど富栄養化で悪化した水を放流しても藻類リフレッシュやシルトの清掃はできないと思われ、まず湖内の水質浄化をしなければ解決にならない。現況の水質では攪乱を繰り返すほど、低水位になれば状況は悪くなる。	田中 真澄
					検討／試行	「ダム・堰運用による水位変動・攪乱の増大の検討[ダム所在地先]」: 検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					検討／試行	高山ダムなどの攪乱放流は、大事な試みであるが、日本のダムでは人工放流に使える容量が少ないので、単独では流量が不足する。中規模以上の洪水に乗せ放流をする、技術の開発を考えて欲しい。淀川大堰の操作にも共通する課題かもしれない。	谷田 一三
					検討／試行	追加: 重要度で優先順位をつけられたことは良いと思う。モニタリング項目には、魚類(例: 漁業的にはアユの摂餌量、成長、移動等)も含めるべきであろう。	原田 泰志
					検討／試行	1. モニタリングへの住民参加の検討。 2. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)	本多 孝
					検討／試行	基本的には「可」。ただし、事業地区だけでなく他のダム湖においても検討されるべき。とくに、ダム湖水の滞留時間と富栄養化との関係を検討・試行していただきたい。	三田村 緒佐武
(環境-33)	環境-37	5.2.3	急速な水位低下が生じないダム等の運用操作を実施	淀川(瀬田川)	実施	実施可	倉田 亨
					実施	可	寺川 庄蔵
					実施	可	仁連 孝昭
					実施	可 きわめて重要	米山 俊直
					実施	「急速な水位低下が生じないダム等の運用操作を実施[瀬田川洗堰・天ヶ瀬ダム]」: 実施で可。但し、現行操作規則を変更を伴うものについても、検討を進めることが重要である。とくに瀬田川洗堰については、「環境-27(旧シートNO.)」と併せて検討を進める必要がある。	川那部 浩哉
					実施	実施可。放流による魚類残数の調査を生物群集調査とする。調査地点を複数箇所設ける。	川端 善一郎
					実施	「可」	三田村 緒佐武
					実施	淀川・楠葉地点以外での水位操作・運用操作の影響についても早期に調査されますよう。(平成14年夏～秋のワーキングで出ていた課題)	山本 範子

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(環境-36)	環境-40	5.2.4	選択取水設備の継続活用及び各種の検討	既設ダム	検討／実施／委員会	実施可	倉田 亨
					検討／実施／委員会	可	米山 俊直
					検討／実施／委員会	これまでの検討結果を整理する	和田 英太郎
					検討／実施／委員会	「疑義あり」:この設備だけでは解決できない。(一庫ダムの)水質改善には上流からの生活廃水流入対策を手遅れにならないうちに検討・実施の必要がある。今後ダム建設は困難になると予想され、一庫ダムは川西市民の水ガメとして大切にしていきたい。一庫ダムから余野川ダムへ利水の振り替えは安易な考えではないでしょうか？	畚野 剛
					検討／実施／委員会	「選択取水設備の継続活用及び各種の検討」:検討で可。但し、既設の選択取水設備を単に活用するだけでなく、その問題点を抉りだすような検討事項とすべきである。	川那部 浩哉
					検討／実施／委員会	実施可。深層水の放流に際しては水温のみではなく、DOの下流生態系に与える影響にも留意する。	川端 善一郎
					検討／実施／委員会	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					検討／実施／委員会	ダムにおける水質改善装置については、設置運転コストに見合うだけの効果があるかの検証が必要である。	谷田 一三
					検討／実施／委員会	追加:運用を下流にとって最適な形に弾力化することも検討してはどうか。たとえば、流入水温と同じ温度での放流を基本に現在操作が行われている場合に、冷水病の発症予防のためにより表層の水を放流する可能性も検討してはどうか。将来的には冷水病アユ放流の禁止等による川からの冷水病の根絶が望ましいが、短期的には、上記のような運用の弾力化による対応可能性の検討もありうると考える。	原田 泰志
					検討／実施／委員会	おおむね「可」。ただし、取水時期と取水深度により、下流域の産業、交通、生活環境に大きく影響をもたらす。その意味ではマルチ深度取水を検討するのもよい。	三田村 緒佐武

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／実施／委員会	維持管理には地球環境に配慮した手法を優先的に取り入れる。 例：電力を使わない、など。大型施設を作り維持管理に費用がかかるといった方を避ける。	山本 範子
					検討／実施／委員会	現状ではやむなし 選択取水機能の改善が望まれる。基本的には総合的な水質および底質の改善をはかること。	寺川 庄蔵
(環境-37)	環境-41	5.2.4	曝気設備の継続活用及び各種の検討	既設ダム	検討／委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／委員会／実施	「疑義あり」:この設備だけでは解決できない。(一庫ダムの)水質改善には上流からの生活廃水流入対策を手遅れにならないうちに検討・実施の必要がある。今後ダム建設は困難になると予想され、一庫ダムは川西市民の水ガメとして大切にしていきたい。一庫ダムから余野川ダムへ利水の振り替えは安易な考えではないでしょうか？	畚野 剛
					検討／委員会／実施	「曝気設備の継続活用及び各種の検討」:検討で可。但し、既設の曝気設備を単に活用するだけでなく、その問題点を抉りだすような検討事項とすべきである。	川那部 浩哉
					検討／委員会／実施	実施可。水質改善がみられた面積、範囲を明らかにすべき。水塊の流動範囲とDOの改善範囲が一致するかどうかを検討すべき。	川端 善一郎
					検討／委員会／実施	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					検討／委員会／実施	ダムにおける水質改善装置については、設置運転コストに見合うだけの効果があるかの検証が必要である。	谷田 一三
					検討／委員会／実施	維持管理には地球環境に配慮した手法を優先的に取り入れる。 例：電力を使わない、など。大型施設を作り維持管理に費用がかかるといった方を避ける。	山本 範子
					検討／委員会／実施	何をもって効果の指標とするのか検討が必要	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会 ／実施	おおむね「可」。ただし、安易にばっきによる鉛直混合促進に頼るべきでなく、なぜ環境悪化をきたすかを検討し、その根本対策を講じるようにしなければならない。	三田村 緒佐武
					検討／委員会 ／実施	深層曝気はかえって赤潮を促進させるとの疑問もあるため、技術的にもさらなる検討が必要。	渡辺 賢二
(環境-38)	環境-42	5.2.4	底質調査の継続実施と改善対策等の検討	既設ダム	調査検討／調査実施	実施可	倉田 亨
					調査検討／調査実施	可	米山 俊直
					調査検討／調査実施	「底質調査の継続実施と改善対策等の検討」:検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
					調査検討／調査実施	実施可。実施調査項目によって汚濁メカニズムが解明できるのかどうか検討すべき。	川端 善一郎
					調査検討／調査実施	添付されている写真は底泥調査のものではない。バンドーン採水器を持っている。また、布目、室生、青連寺、高山など相互に関連するダムにあっては、底泥形成や藻類繁茂など有機的に連携しているため、相互の実態を把握し、制御管理につなげるべきである。	宗宮 功
					調査検討／調査実施	文言追加。(可)ダム湖内の水質改善策は可ですが、「ダム湖に流入する河川の水質が影響大であり、上流域の水質環境の保全育成の検討」、ダム湖内での水質悪化を軽減。	田中 真澄
					調査検討／調査実施	「賛成」とくに一庫ダムにおいては上流直近に広域ごみ処理施設の計画があり、状況によっては測定項目にダイオキシン等の追加の必要性も留意されたい。	畚野 剛
					調査検討／調査実施	「可」。ただし、水質改善、底質改善につながる調査内容(調査項目と採取地点、その時期)としなければならないことはいうまでもない。従前の環境基準にあるからという姿勢では環境改善が困難であることがしばしばある。	三田村 緒佐武
					調査検討／調査実施	底質調査は年1~2回ということですが、大気中の調査も定点で月1回なされている。あまり変化がないから年1~2回でよいのでしょうか。利水、飲料水としても使われ、生物にも影響があると思われる。今後調査頻度を上げる方向で検討を望みます。長期的には住民の関心が高まることだと思います。	山本 範子

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(環境-41)	環境-45	5.2.5	土砂移動の障害を軽減するための方策を検討	既設ダム	検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	可。但し概算、必要年数等々のプランを明確化。	和田 英太郎
					検討／試行	重要(これまで、なおざりになっていた)なので必ず実施を！！可	倉田 亨
					検討／試行	「疑義あり」：直感的には森林の土砂流出防止と下流への土砂供給とは相反するよう感じるのですが？	畚野 剛
					検討／試行	実施可。下流に運んだ土砂の流し方を検討する。特に生物の生息環境を破壊しないダム下流の流量と土砂の流し方の検討が必要。	川端 善一郎
					検討／試行	排砂が下流の河床変動に与える影響を予測して排砂計画に反映させる。	水山 高久
					検討／試行	「土砂移動の障害を軽減するための方策を検討」：検討で可。但し、直轄でない河川、さらには2級以下の河川にあるすべてのダム・堰等についても、その整備は全体として検討しなければならないこと、「提言」等からも明らかであり、実施はともかく検討事項として、このようなものが「整備計画に係る具体的な整備内容シート」に全く記載されていないのは、不自然である。	川那部 浩哉
(環境-42)	環境-46	5.2.5	土砂移動の連続性の確保(砂防施設)	瀬田川・木津川	検討／試行	可	米山 俊直
					検討／試行	「土砂移動の連続性の確保(砂防施設)」：検討で可。但し、直轄でない砂防ダムについても、検討事項として記載するのが自然である。	川那部 浩哉
					検討／試行	透過型堰堤(スリット付き)による土砂移動の促進と生物の移動を考慮した砂防施設の普及が課題。	川上 聡
					検討／試行	流砂の恒常的確保を前提出来る方法を検討すること先決。十分研究を。	倉田 亨
					検討／試行	透過型砂防堰堤をもっと積極的に導入する必要がある。ゲート付き砂防堰堤の利水効果とは、どのような意味か？取水用堰堤と砂防堰堤を峻別しないと、河川管理上問題を生じられる。	谷田 一三
(環境-49)	環境-53	5.2.6	生息・生育環境の保全と再生の検討(向島地区)	宇治川	検討／淀川環境委員会	「生息・成育環境の保全と再生の検討(向島地区)」：検討で可。	川那部 浩哉

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／淀川環境委員会	調査項目・時期など事前準備の検討を十分踏まえて欲しい。	倉田 亨
					検討／淀川環境委員会	可	米山 俊直
					検討／淀川環境委員会	実施をお願いします。	山本 範子
					検討／淀川環境委員会	すみやかに事業を実施すべし。	渡辺 賢二
					検討／淀川環境委員会	模型飛行場、グランドの早期撤退が必要である。現在、オギ草地が増加中である。	有馬 忠雄
(環境-54)	環境-58	5.2.6	支川や水路を含めた構造の改善等に向けて、関係機関と連携	-	検討／委員会	一般論として、おおいに推進してほしい事業である。住民意見の聴取あるいは住民の参画を求める時には、農業者や男性だけでなく、子どもや女性たちなどにもかかわってもらい、そのような事業をすすめていることに理解と興味をもってもらうことが重要である。琵琶湖辺での試験的な活動においては、子どもたちはこのような事業には前向きな興味を示し、[子どもがうごくと大人もうごく]ということを実証済みである。	嘉田 由紀子
					検討／委員会	「自然や水路を含めた構造の改善等に向けて、関係機関と連携」：連携の実施と内容の検討で可。主体的・主導的・積極的に進められたい。	川那部 浩哉
					検討／委員会	賛成	倉田 亨
					検討／委員会	賛成。早急に取り組むべき課題であると思います。	田村 悦一
					検討／委員会	可です。ただ、もっと継続的に流域全体に広げていってほしい取り組みなので、できるところだけ実施するだけに終わらないでほしい。	細川 ゆう子
					検討／委員会	1. 住民参加のワークショップ形式での取り組みの検討。 2. ハード整備(形状修復)だけで終わらない住民参加の場作り、継続したかかわりのできるソフトや仕組み、人材育成の検討を追加記述ください。 3. 環境委員会(仮称)の傍聴や傍聴者発言の機会を与えた、開かれた取り組みを心がけ、常に住民への情報提供・参加を促せるようにマドロを開けた取り組みを心がけてください。また、公開を原則とすることで、実効性ある委員会になるように心がけてください。 4. 河川レンジャーのかかわりや連携でできることはあるか、検討。(モニタリング、住民参加などで。)	本多 孝

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／委員会	水路も含めた構造改善について評価できる。	松本 馨
					検討／委員会	可 重要	米山 俊直
					検討／委員会	農業用水路と河川の連続性確保については、農水省、府県の農水部門との調整・連携・実践に特に力をを入れて進めてほしい。	川上 聡
					検討／委員会	「賛成」メダカの住める川の復活のために用・排水路とのつながりを十分「留意」して検討いただきたい。	畚野 剛
					検討／委員会	おおむね「可」。ただし、整備内容によっては住民の利便性と環境保護とが相反する場合がある。可能な限り住民意見の合意をはかるように努めるべき。	三田村 緒佐武
(環境-58)	環境-62	5.2.7	ダム湖法面の裸地対策を検討	天ヶ瀬ダム・高山ダム・一庫ダム	検討(試験試行含む)	賛成	倉田 亨
					検討(試験試行含む)	可	寺川 庄蔵
					検討(試験試行含む)	可	米山 俊直
					検討(試験試行含む)	水位変動の大きいダムの法面裸地の緑化については、土砂崩壊防止はともかく、美観面からは不要と考える。	川上 聡
					検討(試験試行含む)	(否) 広大無辺なる法面对策、可能なのでしょうか。景観問題でもありますが、仮に緑化を推進しても崩壊した時の影響が大きいと思われます。技術に期待したいと思いますが。	田中 真澄
					検討(試験試行含む)	ダム湖岸緑化は景観的には好ましいようだが、コストとの見合いの検討が必要。具体的な緑化植物が記載されていないが、外来種などが利用されているならば論外の技術である。	谷田 一三
					検討(試験試行含む)	「疑義あり」：一庫ダムのように法面が急傾斜の場合緑化の効果は疑問ではないだろうか？一庫ダムは川西市民の水がめであり、これ以上観光人口を増やすことは望ましいことではなく、「観光のための緑化」という考えは疑問に思います。	畚野 剛

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討(試験試行含む)	「ダム湖湖面の裸地対策を検討」:検討で可。ある程度予測可能な水位変動と、予測不能ないし困難な水位変動があり、前者はともかく後者については具体的な方法をこれから考える段階であると思われるため、若干のダムにおいて試験的に行うことは望ましいと考える。但し、挙げられている3ダムがそれに相応しいかどうかについては、私には判断根拠がないので、十分に検討されたい。	川那部 浩哉
					検討(試験試行含む)	湛水による法面の植物の枯死による富栄養化実験を詳細に検討する。	川端 善一郎
					検討(試験試行含む)	この場合は「可」。ただし、対処療法的整備は基本的に問題がある。また、ダム湖水の富栄養化とのかかわり(裸地、植生域、施肥などを含む)を検討する必要がある。なお、植栽種を考慮すべき。	三田村 緒佐武
(環境-63)	環境-67	5.2.8	振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用	淀川・宇治川・桂川・木津川	実施	「振動や騒音を最小限に押さえる施工機械の使用」:実施で可。但し、なぜ「淀川工事(河川?)事務所管理区内<全川対象>」だけなのか、疑問は尽きない。	川那部 浩哉
					実施	(可)	田中 真澄
					実施	可	米山 俊直
					実施	施工場所の条件によって、また機械運転方法によって異なるだろうから、機種やサイズ・運転法の望ましい方法をマニュアル化する検討を頂いてはどうか。	倉田 亨
					実施	施工機械の低環境負荷型の導入は環境面からも積極的に早期に実施する必要があります。しかし施工業者の側が大手に限られるなど対応に時間のかかる中小業者については導入促進のアドバンテージを与える、支援するなど必要ではないでしょうか。	山本 範子
					実施	効果のモニター法について述べる	和田 英太郎
(治水-10-28)	治水-10-28	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	要緊急性の説明	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(治水-10-29)	治水-10-29	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	要緊急性の説明	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(追加)	治水-10-30	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-10-30)	治水-10-31	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	要緊急性の説明	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榊屋 正
(治水-10-31)	治水-10-32	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	要緊急性の説明	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(治水-10-32)	治水-10-33	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	要緊急性の説明	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(治水-10-33)	治水-10-34	5.3.1	堤防補強	宇治川	検討／試行・委員会／実施	(コスト・工法・工期など詳細不明で判断不能)必要性ありと思い、実施が好ましい。	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	要緊急性の説明	和田 英太郎
					検討／試行・委員会／実施	堤防補強の緩傾斜面については、水際と陸域との移行帯として、環境面での配慮もお願いしたい。水陸移行帯にふさわしい植生の自然回復をはかること、生態系の回復をはかることが必要である。これについては、専門家の意見を聞くこと、生態系に配慮した工法、埋土種子の活用などが必要である。	谷田 一三

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／試行・委員会／実施	「治水-9～治水-14」について 1. 実施内容はいつ決まるのか。 2. 実施内容は場所に拘わらず同じか、堤防の材質によって違うのではないか 3. 実施の優先順位はどうなっているか、同じ区間でも優先すべきところとそうでないところがある筈 4. 上記各項をもとに、全体の計画を明確にして示して欲しい	榑屋 正
(治水-14)	治水-15	5.3.1(1)	堤防補強(琵琶湖後期放流影響区間)	宇治川、瀬田川	検討／試行・委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 将来のまちづくりも視野に入れる。	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	「実施ではなく検討すべき」 鹿跳渓谷は「鹿跳・米漸の鍋穴」として滋賀県の天然記念部に指定されており、この整備の方向性は再検討を要する。	小林 圭介
					検討／試行・委員会／実施	必要な予算は、緊急性は	和田 英太郎
(治水-16)	治水-17	5.3.1(2)	琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減	瀬田川、宇治川	実施／検討	急いで検討・実施望む。	倉田 亨
					実施／検討	OK	水山 高久
					実施／検討	可	米山 俊直
					実施／検討	琵琶湖ピーク水位で5cm下がる意味の評価は。3～4日浸水日数減ることの評価は。	池淵 周一
					実施／検討	4/8記載の既存施設利用について。各施設の可能な洪水調節能力を明示し、検討をしていただきたい。	山本 範子
					実施／検討	被害の軽減のタイムスケールを明確にする	和田 英太郎
(追加)	治水-18	5.3.1(2)	琵琶湖沿岸の浸水被害の軽減	瀬田川、宇治川	検討／実施	可	米山 俊直
					検討／実施	(バイパス水路の機能がいま一つ判らず、判断出来ない)必要なのだろうが。	倉田 亨
(治水-17)	治水-19	5.3.1	隠元橋架替及び隠元橋付近の用地交渉の継続実施	宇治川	検討／試行・委員会／実施	実施可	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可	尾藤 正二郎
					検討／試行・委員会／実施	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(治水-25)	治水-27	5.3.1	砂防堰堤、山腹工	瀬田川、木津川	実施	砂防ダムの目的はあくまで山地の侵食防止が原則である。1959年の伊勢湾台風による大災害で大量の土砂が生産・流出した際に、これらの土砂の再移動をコントロールするために設置されたものが大部分をしめる。当時の地域の人々に対する安心感を持たせるための措置であったことは否めない。また、当時の社会情勢のもとで行われたものが、40年以上たった現時点において批判を浴びるのは致し方ないことである。自然環境を回復させる前に、流出土砂をコントロールするのが優先課題であったのである。流水の縦断的な不連続性、景観上好ましくない、リクリエーションに対する不親切さなどの点で自然破壊であるという見方をされるのであるが、当時の河川管理者に対して以上の点を要求するのは酷なことであって、今後これらの諸問題に対して改善なり、修復を加えていきたいものである。本淀川委員会としては現存の砂防ダムに対する改善と修復を提案すると共に、新たに設置する砂防ダムを含めた構造物の全てについて、自然環境や景観さらにはリクリエーションなどに配慮した構造物を計画するよう勧告すべきである。	大手 桂二
					実施	賛成	倉田 亨
					実施	可	尾藤 正二郎
					実施	可	米山 俊直
					実施	砂防堰堤、山腹工 土砂災害は人命被害が大きいので、ある意味では浸水より重点的に考える必要がある。しかし、ここでもハザードマップの活用など、危険地域からの人や資産の移動を考える必要がある。とくに、老人施設などが安易に建設されることなどは、戒められなければならない。	谷田 一三
					実施	修正、追加:他の治水事業にくらべ、不明確にしか記述されていない。実施と書くなら、どこになにを設置予定であるのか、またその必要性、代替案、工法、自然環境への影響等の検討結果を記すべきではないか。	原田 泰志
					実施	予算規模を明記する。	和田 英太郎
(追加)	治水-35	5.3.3	堤防の耐震対策(琵琶湖後期放流影響区間)	宇治川、瀬田川	検討／試行・委員会／実施	賛成	倉田 亨
					検討／試行・委員会／実施	可 緊急性あり	米山 俊直
					検討／試行・委員会／実施	可 堤防補強との関連はどうなっているか。別々の対策事業として実施されるのか。	尾藤 正二郎
(利水-3)	利水-3	5.4.	既設水源開発施設の再編と運用の見直し	既設ダム	検討／実施	賛成	倉田 亨
					検討／実施	賛成。日吉ダムの例が示すように、取水状態の的確な把握による効果的な補給は、ダムの利水機能を高めるものであります。	田村 悦一

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					検討／実施	可	米山 俊直
					検討／実施	既設ダムの連携による効率的な補給の検討はぜひともやってほしい。	池淵 周一
					検討／実施	「取水実態を精査した効率的な補給を検討」:実施かつ検討で可。但し、直轄のダムだけではなく、地方自治体や企業などの持つすべてのダムについても、同様のことを主体的・主導的・積極的に検討することが、とくに重要である。	川那部 浩哉
					検討／実施	「問題あり」既設ダム間の連携は検討に値すると思うが、連携構想を工事中または新規ダムまで拡大することは今後流域委員会との間で慎重な協議が必要と理解している。	畚野 剛
(利用-4)	利用-4	5.5.1	瀬田川水辺利用者協議会(仮称)の設置	淀川本川(瀬田川)	調整／検討	賛成	倉田 亨
					調整／検討	可	米山 俊直
					調整／検討	条件付可。ただし瀬田川の公共性に照らして、(1)協議会を広く公開し、広く意見募集を行いそれを尊重すること (2)生態学に通じた学識経験者を含めること が条件。	村上 悟
					調整／検討	占有権の一定期間ごとの見直しを提言に沿った排他的独占的利用の制限に向けて行っていくことが重要。積極的に促進すべき河川の利用を援ける。(施設づくり、利用をたずけるヒントの広報、人づくり・・・)利用希望の利害調整だけでなく、目ざしている河川環境についての理解を深めあう場としてほしい→河川保全利用委員会(仮称)	山本 範子
					調整／検討	1. 最近の水上オートバイの急速な増加・事故急増状況からみて、早急に何らかの対応が必要 2. エンジンのガス排出基準、船舶検査のあり方、操縦免許の取得・更新の仕組みが、陸上交通とどう違っているか比較する。陸上交通に 関しては、きめこまかくフォローがされている。参考にするべきである。(利用-1、利用-2、利用-3、利用-4に共通)	榎屋 正
(維持-5)	維持-5	5.6	歴史・文化的価値のある施設の保全	淀川・宇治川・瀬田川	実施	可	米山 俊直

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
					実施	全河川、直轄以外の所、源流も含めた各府県の認識を共通化した制度にする。 ①河川レンジャーの業務とする、②地区住民も協力する、③環境省の考えも入れた特別、自然保護区の法令で対応する。④府と市町村との意見の相違にも調整が必要である。 流域センターの管理のもとに、淀川レンジャーを中心に、NPO、地域住民に対応してもらう。(災害時には、中・高・大学等の学校単位の協力も必要) 近江八景は夕景色ばかり美化されて、歌われているが、朝日が少ないのにも問題がある。新しい時代から見た淀川100景の指定を提案する。風景、自然、生物、音、水、歌、文化、歴史、スポーツ、碑、人物等の登録に案内標が必要である。	小竹 武
					実施	1. 整備効果による3つの点について、河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
					実施	具体的手法等詳細不明、判断不能。	倉田 亨
(維持-15)	維持-15	5.6	安全利用のための対策	淀川・宇治川・桂川・木津川	検討	賛成	倉田 亨
						ぜひ促進してください。	山本 範子
						可	米山 俊直
						流域センターの管理のもとに、淀川レンジャーを中心に、NPO、地域住民に対応してもらう。(災害時には、中・高・大学等の学校単位の協力も必要) 一級河川敷の年間を通しての次世代の子供達のための理想的都市河川公園を目標として、公衆便所、各関連省庁の了解のもとにスポーツ施設を含めた多目的利用を一定の制限のもとに互いに理解し、護りあって利用出来るように、ここでも流域センター(救護施設)、河川レンジャー(としての人間関係)が必要となる。	小竹 武
						生態系の回復を図っているところに、安易に通路をつけることは避けてください。あまり通りやすくすると、バイクで入るなど、予想外の利用をされる場合もあります。	細川 ゆう子
						1. 身障者団体などの意見を聞いて、意見を反映させる。 その際に河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
						猪名川では地域要望がなく対象になっていないのか。	池淵 周一
(ダム-1)	ダム-1	5.7.1	生息・生育実態を定期的に調査	既設ダム	実施	重要。改訂河川法の目的達成の確認に…、大賛成。	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						可	尾藤 正二郎
						可 さらに推進	米山 俊直
						「賛成」調査結果を積極的に公表すべき。	渡辺 賢二
						1)過去10年間の河川水辺の国勢調査(ダム湖)結果の評価がどのような良好なダム管理に反映されたかを一般にわかりやすく公表する努力をする。 2)調査項目、方法の再検討を行う。 3)ダム建設前のデータとの比較を行う必要がある。	川端 善一郎
						一庫ダムで実施している景観の復元調査を実施すべきである。	服部 保
						追加:これまでの調査内容(手法努力量等含む)の再検討(みなおし)を行ったうえで、調査を継続することを明記。	原田 泰志
						「実施可」ただし蓄積された情報の活用法、住民へのデータ、活用事例の公開に留意されたい。	畚野 剛
						1. 住民参加による調査項目の設定の検討と住民参加による調査を検討する。 調査や住民とのコーディネート、調査のまとめと情報発信など河川レンジャーのかかわれる役割や連携を検討する。	本多 孝
						基本的に「可」。生物の生息・生育を定期的に行うことは大いに賛同できるが、その実施に当たっては調査目的を代表できる場所と調査日を考える必要がある。例えば調査日と言えば、春夏秋冬という視点が必要なのか、生物の生態変化の視点が必要なのかなどがある。	三田村 緒佐武
						全項目とはいかないが、何年かに一度は関連する数項目を同時に調査することも必要では。	池淵 周一
						コメント準備中	村上 悟

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(ダム-2)	ダム-2	5.7.1	ダム水源地域の活性化に向けた湖面活用や周辺環境整備	既設ダム	検討/実施	可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						利水目的のダムについては「実施不可」 理由：観光地化は水質の保持と相反する行為として賛成しかねる。	畚野 剛
						下流受益地との交流活動が進むインセンティブが働く施策とは何か。経済的インセンティブも考えては。	池淵 周一
						公園整備等周辺環境整備においても、自然修復「自然が自然をつくる」立場で実施して欲しい。	川端 善一郎
						賛成。ただ、地域の活性化が、自然環境破壊をもたらさないようくれぐれも留意すること、及び、地元自治体や住民との緊密な連携を望みます。	田村 悦一
						基本的に可 主として、ダム水源地域の自然特性を守り生かす取り組みを支援する。	寺川 庄蔵
						「湖面活用」は余り考えるべきでない。問題発生の場合困る。	倉田 亨
						部分的(否)すばらしい自然を壊してダムをつくっているのであり、まるでダムができて素晴らしい自然がある様な記述は美化しすぎています。環境という主軸を考えてもダムは環境破壊の最たるものであることは周知のことです。「広い森林を保全し・・・守っている」は、まさしく森林が流域にどれだけ重要であるかであり、ならば環境、治水、利水の項目になぜ記述できないのか、疑問、不信を抱きます。「湖面活用」は削除、必ず問題が発生します。 活性化についても、ダム湖の悪化につながらない事を明記すべき。	田中 真澄

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						一庫ダム周辺は生態、景観、文化、歴史上日本一の里山が広がっているが、このような良好な自然環境をPRすべきである。水源地域ビジョンの推進では布目ダムの例が示されているが、一庫ダムの例は示さないのか。	服部 保
						湖面活用は基本的には削減していくべき。ただし、次世代の人づくりのため、環境学習等の場など河川環境の理解に役立たせることを考慮して整備することは望ましい。ただし、ダムの効用誘導型の施設整備などは慎重にしなければならないことはいうまでもない。	三田村 緒佐武
(ダム-3)	ダム-3	5.7.1	河川利用者に対する安全を図るためのハード面とソフト面の充実・強化	既設ダム	検討/実施	実施可。	川端 善一郎
						可	寺川 庄蔵
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						「実施可」	畚野 剛
						「可」。	三田村 緒佐武
						実施で可。	村上 悟
						可	米山 俊直
						晴天にもかかわらず後期放流がなされているので洪水警報が発令されている。このことが理解できるように情報表現を。ライン河沿いにある水位が時計盤になる量水時計もおもしろい。	池淵 周一

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						左程重要と思えない。河川管理当局がデータをキチンと把握を優先願いたい。	倉田 亨
(ダム-4)	ダム-4	5.7.1	ダム付属設備の計画的な補修を実施	既設ダム	実施	当然実施。	池淵 周一
						実施可。	川端 善一郎
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						「実施可」	畚野 剛
						「可」。	三田村 緒佐武
						実施で可。	村上 悟
						可	米山 俊直
						可 ダム本体の点検について、ダムの寿命、後処理など重要なことに言及していない。提言で示したように撤去も含め検討が必要である。	寺川 庄蔵
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
(追加)	ダム-6-1	5.7.1.(12)	既設ダムの再編・運用変更により治水効果を検討	既設ダム	検討	可	寺川 庄蔵
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						「異議あり」理由：一方でダムの現状は実力低下という説明があり、その一方本項で「最大限利用」といわれるが、論理的に矛盾していると思う。直感的かもしれないが、このような発想は安直な印象を受けます。	畚野 剛
						既設ダム群間での可能性検討は。名張川における事例ぜひとも検討を。	池淵 周一
						賛成。ただし、この調査検討が、安易にダム新設の理由として利用されないように(例えば、大戸川ダム建設が、日吉ダムの利水機能の振替を理由のひとつとして提起されているように)。	田村 悦一
						詳細不明で判断できず。	倉田 亨
						一部(否)再編図によると治水容量まで利水容量を100%とした場合、下流で合流する他の一方のダム河川までの河川水位についての策を記述しなければならない。	田中 真澄
						計画中のダムへの有効条件になっていないか疑問である。	渡辺 賢二
(ダム-7)	ダム-7	5.7.2	大戸川ダム建設事業	大戸川ダム	調査・検討	可	尾藤 正二郎
						OK	水山 高久
						可	米山 俊直
						ダム建設は自然環境および地域社会へ及ぼす不可逆の影響が大きいため建設しないことが至当。計画・事業中のダムを前提とした既設ダムの治水・利水容量の振り替えなどの目的変更は「調査・検討」の結果をまっとう慎重に検討すべきである。	川上 聡

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						(否)計画策定時のダム目的から変更されてきた理由と経緯の記述が必要。又、計画変更後の振替計画を実現するために新しいダムをつくる発想は安易であります。 琵琶湖流域の渇水時期に大戸川だけに水がある保証の記述が必要。	田中 真澄
						大戸川ダム建設事業→不可 「…急速な水位低下の抑制策として有効」などとした説明をしているが、大戸川ダムの用途別水量や貯水量の割り振りなどが不明確な時点で有効とはいえない。 (理由)急速な水位低下の抑制策の調査検討がおこなわれているが、先に書いたように使える水量が不明確であり、かつ、過去の洪水を列挙し治水の必要性を上げているが、洪水とダムとの関係がまったくないものまで入っており、これではダムをつくる説明にならない。 また、日吉ダムと大戸川ダムの容量振り替を計画しているが、利水精査もまだなのに判断できないのではないのか。さらに、治水と利水の効果を同時にあげているが時期的にかみ合わないか、もっと詳細な説明がなければ検討さえできない。 まず、水需要の精査確認と、代替案の検討を早急に行うべきである。	寺川 庄蔵
						大戸川の集水域は典型的な花崗岩の深層風化地域であるのと、被覆している植生のほとんどがアカマツ林の疎林や未熟林であるため、土壌の発達も極めて貧弱で水源涵養機能がほとんど認められず、特に治水対策が必要とされるものと考え。したがって、集中豪雨時の出水時までの時間、時間当たりの出水量、土砂の流出量等について、他のダムと比較検討したうえで「実施可」の根拠を明らかにすべきである。	小林 圭介
						検討で可 ・環境30の検討と連携した体制をとること。	西野 麻知子
						日吉ダムの利水容量の振り替えによって、琵琶湖水位低下抑制の効果と日吉ダムによる治水効果がどれほど有効であるか検討する必要がある。必要なときにどれだけの貯水量を利用できるのか？	仁連 孝昭
						日吉ダムが度々渇水に見舞われているので、日吉ダムと大戸川ダムの水のたまり方の評価が必要では。保津川遊船の稼働に影響は。	池淵 周一
						資料の提示方法：第2稿の説明シートから水害被害額の表を削除すべきではない。想定被害額と事業費の比較ができるようにするため。	川端 善一郎
						検討すべし。実施にはまだ遠い。(代替案まだ)	倉田 亨
						最善、最適な対策としては疑問な点や問題点が多く、十分な調査と検討が不可欠。「社会的合意」と実施は遠いものと思われる。	塚本 明正
						ダム建設の代替案を十分検討された後にダム建設の是非が判断されよう。その後に示された整備内容の評価が可能になる。なお、これに関しては淀川水系のみならず関わる流域住民の合意形成をはからなければならぬことはいうまでもない。	三田村 緒佐武
						効果不明	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						①この振り替え計画は大戸川ダム建設を当然の前提としており、計画自体が大戸川ダム建設の有効条件に加えられている感が強い。 ②日吉ダムの利水機能を大戸川ダムに振り替えるとしても、渇水状態の続く日吉ダムの利水機能を大戸川ダムに振り替えることが現実に可能かどうか疑問である。 ③日吉ダムの利水機能を大戸川ダムに振り替えることで、三川合流より下流の利水が確保されても、日吉ダムから三川合流までの流量の減少で、流域の河川環境を悪化させる恐れがある。	渡辺 賢二
(ダム-9)	ダム-9	5.7.2	日吉ダム治水強化	大戸川ダム	調査・検討	検討すべし。	倉田 亨
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						(否)計画策定時のダム目的から変更されてきた理由と経緯の記述が必要。又、計画変更後の振替計画を実現するために新しいダムをつくる発想は安易であります。 琵琶湖流域の渇水時期に大戸川だけに水がある保証の記述が必要。	田中 真澄
						異議あり。 1. 日吉ダムの利水機能の振替えと大戸川ダム建設とがセットされているようであるが、日吉ダムの利水の十分な調査がまず必要で、安易な振替えには疑問がある。 2. 日吉ダムの利水機能を全面的に大戸川ダムに振り替えると、渇水期には、三川合流までの流量が減少して、河川環境の悪化を招く恐れがある。 3. 亀岡地区の治水事業との関連で、日吉ダムの治水機能の調査検討も必要である。	田村 悦一
						治水容量増大が亀岡地区の浸水被害軽減にどの程度の効果をもたらすか。3/4のダムサイトの流量減だけではよくわからない。	池淵 周一
						計画・事業中のダムを前提とした既設ダムの治水・利水容量の振り替えなどの目的変更は「調査・検討」の結果をまって慎重に検討すべきである。	川上 聡
						最善、最適対策としては疑問な点や問題点が多く、十分な調査と検討が不可欠。「社会的合意」と実施は遠いものと思われる。	塚本 明正
						ダム建設の代替案を十分検討された後にダム建設の是非が判断されよう。その後示された整備内容の評価が可能になる。なお、これに関しては淀川水系のみならず関わる流域住民の合意形成をはからなければならないことはいうまでもない。	三田村 緒佐武
						効果不明	和田 英太郎

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						①この振り替え計画は大戸川ダム建設を当然の前提としており、計画自体が大戸川ダム建設の有効条件に加えられている感が強い。 ②日吉ダムの利水機能を大戸川ダムに振り替えるとしても、渇水状態の続く日吉ダムの利水機能を大戸川ダムに振り替えることが現実に可能かどうか疑問である。 ③日吉ダムの利水機能を大戸川ダムに振り替えることで、三川合流より下流の利水が確保されても、日吉ダムから三川合流までの流量の減少で、流域の河川環境を悪化させる恐れがある。	渡辺 賢二
(ダム-10)	ダム-10	5.7.2	環境等の諸調査	大戸川ダム	調査・検討	検討を十分に。	倉田 亨
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						(否)計画策定時のダム目的から変更されてきた理由と経緯の記述が必要。又、計画変更後の振替計画を実現するために新しいダムをつくる発想は安易であります。 琵琶湖流域の渇水時期に大戸川だけに水がある保証の記述が必要。	田中 真澄
						大戸川ダムの環境等諸調査→検討に値しない。 (理由)調査検討の方針で「貯水池の規模の見直しならびに貯水池運用の変更に伴う・・・」とあるが、そもそも規模、運用をどのように変更するのか明確になっていないにもかかわらず、先に進めるというのは基本的に意見書の趣旨に反する考え方である。	寺川 庄蔵
						環境面からすれば、ダム建設はかなり困難な状況にあると判断される。	渡辺 賢二
						「提言」をふまえた事業計画の検討を行う。具体的検討項目として、ダム貯水池規模、運用、選択取水施設、流砂バイパス概略設計による動植物への影響のシミュレーションも行う。	川端 善一郎
						2/4,3/4 に示された生物調査の結果はダム建設を諦めざるを得ないことを表しているが、どう考えるのか?	有馬 忠雄
						ダム建設の代替案を十分検討された後にダム建設の是非が判断されよう。その後に示された整備内容の評価が可能になる。なお、これに関しては淀川水系のみならず関わる流域住民の合意形成をはからなければならないことはいまでもない。	三田村 緒佐武
(ダム-11)	ダム-11	5.7.2	天ヶ瀬ダム再開発事業	天ヶ瀬ダム再開発事業	検討/委員会	検討すべし。	倉田 亨
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						ダム建設との関わりにおいて評価されるべき。現段階では評価・判断できない。	三田村 緒佐武
						代替案のさらなる検討が必要	和田 英太郎
						放流能力増大にともなう貯水池運用の変更とはどのようなものになるのか。	池淵 周一
						最適、最善な対策として疑問点、問題点が多く、十分な調査と検討が必要	塚本 明正

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						天ヶ瀬ダム再開発事業→調査検討で可 琵琶湖の漁業および生態系に重大な影響を与える可能性がある。また、琵琶湖岸の浸水被害は補償等の検討が必要である。	寺川 庄蔵
(ダム-12)	ダム-12	5.7.2	天ヶ瀬ダム放流能力増大方策として既存施設を活用した方法の検討	天ヶ瀬ダム再開発事業	検討/委員会	検討に価するだろう。	倉田 亨
						可	寺川 庄蔵
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						OK	水山 高久
						可	米山 俊直
						仮排水路(堤外)の利用、改良を本格的に検討。旧志津川発電所導水路を排砂施設として利用できないかはおもしろい。ぜひ検討を。	池淵 周一
						検討で可 ・環境30の検討と連携した体制をとること。	西野 麻知子
						詳細に検討されるべき。	三田村 緒佐武
(ダム-13)	ダム-13	5.7.2	放流方法の変更に伴う環境への影響および貯水池運用の変更に伴う環境等の諸調査	天ヶ瀬ダム再開発事業	調査検討/委員会	検討に価するだろう。	倉田 亨
						可	寺川 庄蔵
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						OK	水山 高久
						可	米山 俊直
						水位変動による影響、放流量増による影響などにかかわる生物調査の内容がどのようなものを考えているのか分からない。2/4に示されたような生物種のリスト作成を調査内容とは考えないでほしい。	有馬 忠雄
						検討で可 ・環境30の検討と連携した体制をとること。	西野 麻知子

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						関電喜撰山揚水発電所と天ヶ瀬ダム湖との水の出入れはダム湖の水質改善に機能していないか。	池淵 周一
						詳細に検討されるべき。	三田村 緒佐武
(ダム-24)	ダム-24	5.7.2	土砂移動の連続性の確保する方策検討	各ダム	検討	重要。直ぐにでも研究・調査を。	倉田 亨
						水質とともに水の「状態(密度・圧力、温度、速度、成分と各分布は一体)」の認識必要。混層流としても。	塚本 明正
						検討で可	西野 麻知子
						可	仁連 孝昭
						可	尾藤 正二郎
						可	米山 俊直
						検討はしておく。	和田 英太郎
						調査検討内容が多く、このスケジュールで影響調査まで含めてできるのか。	池淵 周一
						琵琶湖に供給される土砂量の減少はダムが原因としているが、本来、土砂の供給の多くは河岸段丘の形成にみられるように護岸や河床を侵食することによって確保されていた。しかし、治水のための人工護岸、川幅の拡幅や天井川などの河川形状の変遷によって、護岸や河床からの供給が途絶えたことも土砂量の減少の大きな原因となっている。例えば、これまでに堆積した愛知川ダムの約60万m ³ の土砂を約30km下流の琵琶湖まで敷きつめたら数cmにしかならず、ダムが琵琶湖への土砂の供給を阻害している主たる原因とはいえない。	小林 圭介

旧シートNo.	現シートNo.	章項目	事業名	河川名	実施／検討	意見	委員
						<p>基本的に可 しかし、4つのダム堆砂対策のイメージ図をあげているが、いずれも多くの問題がある対策であり、十分検討しないと取り返しのつかない事態を招きかねない。すなわち、堆砂のヘドロ化、水質汚染・汚濁、高費用、メンテナンスの難しさ、などである。 琵琶湖では浜欠けの原因にもなっており、解決が急がれるが、要はこの面でも新たなダムは造らないほうが良いということである。</p>	寺川 庄蔵
						「可?」。慎重に検討・調査されるべき。	三田村 緒佐武